

BUDŌ

NEWS

今月のニュース

全日本銃剣道連盟創立60周年記念
高松宮記念杯争奪

第24回全日本銃剣道選手権大会



酒井健全日本銃剣道連盟会長から高松宮記念杯を受け取る北慎一郎 錬士六段



全日本銃剣道連盟創立 60 周年記念
高松宮記念杯争奪
第 24 回全日本銃剣道選手権大会

北慎一郎、
三度目の正直
で初優勝



決勝＝北対西村戦。北（右）が二本目の下胴で優勝を決める

銃剣道日本一を決める、全日本銃剣道連盟創立60周年記念高松宮記念杯争奪第24回全日本銃剣道選手権大会（主催Ⅱ全日本銃剣道連盟）が8月5日、日本武道館で開催され、前回大会で3位までに入賞した選手と全国各地の予選を勝ち上がった63名の選手が出場し、銃剣道日本一を懸けて高松宮記念杯を争った。

開会式では東京都銃剣道連盟会長である小池百合子東京都知事が登壇し、「全国から選りすぐりの選手の皆様には、日頃の訓練、練習の成果を是非生かして頑張ってくださいと思います」と挨拶して出場選手を激励した。

大会は、出場3回目の北慎一郎錬士六段（長崎）が、初出場の西村健錬士六段（大分）を決勝で破って、見事初優勝の栄冠を手にした。

また、齊藤孝教士七段（高知）、平裕任錬士六段（兵庫）がそれぞれ3位に入賞した。

大会はトーナメント形式で行われ、試合は5分三勝負、時間内に決まらなかった場合は時間無制限の延長一本勝負で勝敗を決した。

第1ブロックからは前年準優勝の

齊藤孝（高知）が安定した戦いぶりで4回戦へ。また、5回目の出場となる石川治樹（石川）も勝ち残った。

第2ブロックでは、小倉弘之（静

岡）が苦戦しながらも4回戦に進出。また、2度の国体優勝を誇る北慎一郎（長崎）も調子良く勝ち上がった。

第3ブロックは昨年3位の角康大（沖縄）が勝ち残ると、角の4回戦の対戦相手として、初出場の西村健（大分）が決まった。

第4ブロックでは平裕任（兵庫）が勝ち上がりを決める一方、2回戦から登場した昨年度選手権者の市原茂（熊本）も順当にベスト8に勝ち残った。

◆準々決勝

齊藤 孝 上― 石川治樹

積極的に前に出る石川に対し、齊藤はしっかり距離を取って捌く。なおも前に出る石川に齊藤が力強い上脰を決め、先制。取り返したい石川だが、間合いをはかって攻撃してくる齊藤を攻めあぐねて時間切れ。齊藤が準決勝に駒を進めた。

北 慎一郎 上― 小倉弘之

互いに一本を奪えないまま時間が経過。均衡が破れたのは試合時間3分半過ぎ。北がフェイントをかけて下脰を突くが不十分。ここで前に出てきた小倉の突きにタイミングを合わせて北が上脰を奪う。その後、北はうまく間合いを詰めて、小倉の思うように攻めさせない。そのまま試合は終了し、北は初の準決勝進出。

西村 健 上コ― 角 康大

西村は角が一瞬居着いた瞬間を見逃さず上脰で先制する。取り戻したい角は、西村の技を警戒して慎重に間合いをはかる。西村が前に出ると角は咄嗟に手元をあげる。西村はここで角に小手を決めて二本勝ち。ベスト4に勝ち残った。

平 裕任 上― 市原 茂

試合は互いに攻め合うもなかなか有効突きを奪えず延長戦へ。延長戦開始5分過ぎ、市原は近間から上脰を突いて、間合いを切る。平はこれを追いかけて上脰を突くと、一本。10分に及ぶ熱戦が決着し、平が初の準決勝進出を果たした。



準々決勝＝西村対角戦。西村（左）が小手を決めて二本勝ち



準々決勝＝斎藤対石川戦。齊藤が（右）が上脰で先制



準々決勝＝平対市原戦。平（右）が上脰で延長戦を制する



準々決勝＝北对小倉戦。北が（左）上脰を決める

◆準決勝 北 慎一郎 上上 — 齊藤 孝

昨年の準々決勝と同じ顔合わせとなった。昨年は齊藤が辛勝しており好勝負が期待された。

試合開始から間合いを保ち、攻防を繰り返す北と齊藤。北は、じりじり間合いを詰めて一気に上胴に飛び込むと、齊藤も下胴で応じるが、

ここは北に旗が3本揃い先取。その後も間合いを保って攻め合う2人だが、開始3分、北が再び齊藤の上胴めがけて飛び込む。反応が遅れた齊藤も上胴を返すが、間に合わず勝負あり。北は昨年の雪辱を果たし、日本一を懸けた決勝の舞台に進んだ。



準決勝＝北対齊藤戦。北（左）が上胴で先制する

◆準決勝 西村 健 下 — 平 裕任

試合序盤から緊迫した攻防が繰り返される。互いに機を窺い、技を出す。紙一重で見切り、それを捌く。互角の展開が続く中、試合が動いたのは試合終盤。西村が小手を狙って先に仕掛ける。これをしっかりと防いだ平はそのまま流れるように上

胴を狙う。しかし動きを読んだ西村はこの突きを左に捌いて、すかさず平の下胴を奪う。後がない平は取り返そうと猛攻を見せるも、最後は木銃を落とし反則の宣告を受けたところで時間となり、試合終了。西村が初出場で決勝戦に勝ち上がった。



準決勝＝西村対平戦。
西村（右）が下胴で先制



準決勝＝西村対平戦。
平（左）が木銃を落とす



決勝＝北対西村戦。北（右）が西村の上胴を奪う



決勝＝北対西村戦。北（左）が続げざまに二本目の下胴を決める

◆決勝 北 慎一郎 上下― 西村 健

試合開始が告げられると、西村が果敢に下胴で攻め込む。北がこれを難なく捌くと、決勝戦にふさわしい熱気溢れる攻防に場内も盛り上がるが、その後は一転して両者ともに慎重に相手の出方を窺う静かな展開に。ここで先に動いたのは北。上に突き上げるようなフェイントを仕掛け、これに反応して手元が浮いた西村に鋭い上胴を決める。一本目の興奮が覚めやらぬ中、二本目の開始と同時に北は西村めがけて突進、虚を衝かれて下がる西村。その下胴を北の突きが捉えると、場内にはこの日一番の歓声が^{だま}溢る。北は見事な二本勝で嬉しい初優勝に輝いた。

息子に捧げる初優勝

「なにがなんだか、まだよく分かっていないんです」

肩で息をして、滝のような汗が滴る。試合を終えたばかりの北に決勝戦について尋ねた第一声である。無我夢中だったことが伝わってくる。勝因については次のように語る。

「今日は攻撃の剣が今までよりも出来たと思います。一番取り組んだのは集中力を高めることですね」

準決勝で戦った齊藤孝はかつて、自衛隊の赴任先・大村の先輩だった。昨年は準々決勝で齊藤と熱戦を演じ、一本を奪いながらも惜敗した。敗れた北は齊藤に勝つまでは挑戦し続けたいと語ったが、今年は見事、その齊藤を破って優勝を果たした。



優勝を飾り笑顔の北慎一郎選手

◎優勝Ⅱ北慎一郎選手（長崎）

「齊藤先輩は自分の師匠みたいな感じで、本当に可愛がってもらいました。この大会で優勝して、恩返しが出来たと思います。齊藤先輩に勝つてからは、もう負けられないという気持ちになりました。ここに来ることは二度とない、最後のチャンスだと思って試合に臨みました」

自らの気持ちを追い込み、見事、頂きに到達した。

北はもともと剣道経験者。銃剣道は自衛隊に入隊して始め、競技歴は17年になる。そして、3回目の挑戦で選手権者となった。

優勝を伝えたい人について話が及ぶと、思わず表情が緩む。

「まずは息子に優勝を伝えたいですね。剣道をやっていて、今度全中大会に出場するんです。その前に頑張ってくると言っていて、子供のために刺激を与えたかったんです」

剣士の顔に父親の顔が浮かぶ。息子さんはこの日、試合で応援には来ていなかったが、日本一の父の想いがきつと届いたことだろう。

○第2位Ⅱ西村 健選手（大分）

「初出場だったので、県の代表として楽しみなが試合しようと考えました。その結果がよくて、決勝まで来られたのだと思います。北選手とは何度か対戦していますが、自分の苦手なところを突かれて、一枚も二枚も上手だったと思います。また稽古に励んでこの舞台に立てるように頑張りたいと思います」

□第3位Ⅱ齊藤 孝選手（高知）

「北は長崎、大村のときの後輩で一緒に稽古もやって、試合も出て、弟のような存在です。彼に日本武道館で、真剣勝負で負けたのは、悔しいような清々しいような気持ちです。北は自分と当たるまで負けないう目標を立てていたようで、自分も北と当たるまで勝ち上がろうと頑張れました。来年こそ優勝したいです」

□第3位Ⅱ平 裕任選手（兵庫）

「完璧にやられました。最後はもう力が入らなかつたです。今回が初の入賞ですけど悔しいです。今年弱点が分かったので、そこを鍛えて来年挑みたいと思います」

▽ベスト8Ⅱ石川治樹選手（石川）

「ベスト8まで行つて、これからという時に負けてしまいました。齊藤選手はやっぱり強いですね。ベスト8は2回目です。壁と思っていないんですけど、そこにつかつかつてしまっているの、さらに上を目指してやっていきたいです」

▽ベスト8Ⅱ小倉弘之選手（静岡）

「今までは弱い気持ちがあつて、自分の間合いに入れなかつたのでそこだけを意識しました。北選手のような相手だと気持ちで一枚上に行かないと相手の試合になつてしまします。自分の試合が出来なかつたのが一番の敗因です。来年はこの壁を突破することを目標に頑張ります」

▽ベスト8Ⅱ角 康大選手（沖縄）

「もうちょっと試合をやりたいかったですね。西村選手は昔はあまり強くなかつたんですけど、国体で準優勝して自信がついてきたのか、最近では負けていますね。基本的に一本を取れる剣というものを念頭においているので、今後はそこに磨きをかけたと思います」

第24回 全日本銃剣道選手権大会

称号 段位	出場 回数	氏 名	都道府県	称号 段位	出場 回数	氏 名	都道府県
教七 6		齊藤 孝	(高 知)	錬六 7		角 康大	(沖 縄)
教七 初		相智 成人	(奈 良)	錬六 2		黒石 真二	(京 都)
教七 2		中重 勇輝	(沖 縄)	錬六 初		秋元 陽樹	(福 島)
錬六 3		小野 雄大	(宮 城)	錬六 4		好中 大哲	(香 川)
錬六 初		日向 亮介	(埼 玉)	錬六 初		江良 将人	(東 京)
錬六 初		黒崎 徳幸	(三 重)	錬七 8		廣瀬 敬久	(富 山)
錬六 2		中武 裕章	(宮 崎)	錬六 3		佐々木 昇	(島 根)
錬六 初		菅野 学	(福 島)	教七 8		加藤 久幸	(高 知)
錬七 8		田尻 竜三	(熊 本)	錬六 4		高橋 伸嘉	(栃 木)
錬六 3		丸山 辰也	(山 梨)	錬六 3		勝又 秀太	(静 岡)
錬六 2		本村 和義	(山 口)	錬六 3		秋元 伸幸	(北 海 道)
錬六 初		熊谷 祐太	(北 海 道)	錬六 初		蒲嶋 直樹	(熊 本)
錬六 5		高橋 克徳	(茨 城)	錬六 初		西村 健	(大 分)
教七 5		石川 治樹	(石 川)	錬六 初		藤原 考貴	(岡 山)
錬六 8		上井 周平	(大 阪)	錬六 初		柴崎 隆之	(山 形)
教七 初		河合 大地	(佐 賀)	錬六 3		栗原 惇	(千 葉)
錬六 初		江口俊太郎	(福 岡)	錬六 3		縄田剛太郎	(埼 玉)
教七 2		長谷川英昭	(群 馬)	錬六 初		河端 勇樹	(広 島)
錬六 3		小倉 弘之	(静 岡)	錬六 初		宮部 伸久	(岐 阜)
錬六 初		平尾 友道	(鳥 取)	錬六 2		板垣 翔太	(北 海 道)
錬六 5		東川 智彦	(福 井)	錬六 3		平島 直樹	(福 岡)
錬六 2		小野 雅人	(岩 手)	錬六 初		大友富美也	(青 森)
錬六 初		高田 和博	(北 海 道)	錬六 3		平 裕任	(兵 庫)
錬六 初		森下 泰成	(滋 賀)	錬六 初		藤原 一真	(秋 田)
錬六 4		西澤 矢	(長 野)	錬七 2		富樫 貴臣	(新 潟)
錬六 2		木村 壮吾	(神奈川)	錬六 3		木下 元揮	(愛 知)
錬六 3		北 慎一郎	(長 崎)	錬七 5		大石 一矢	(高 知)
錬六 2		鈴木 優太	(愛 知)	錬六 2		平野 正徳	(宮 崎)
錬六 4		久保田幸希	(鹿 児 島)	錬六 2		山口 創	(神 奈 川)
錬六 2		山内 孝地	(北 海 道)	錬六 初		高橋 新	(宮 城)
教七 5		竹村 和剛	(愛 媛)	教七 6		市原 茂	(熊 本)
錬六 2		伊藤 裕慎	(山 形)				

優勝
北 慎一郎

準優勝
第3位
平 齊 西
裕 藤 村
任 孝 健



特別演武「銃剣道の形」
打方・佐藤亨範士八段、仕方・御山昇範士八段

▽ベスト8・前年度優勝Ⅱ
市原茂選手（熊本）
「やはり、どうしても以前と比べると体力が落ちて剣が短くなりまして。平選手は突きにいく剣を持てばもつと強くなるし、まだまだ伸びしろがあると思います。昨年の優勝者として1、2回戦は皆に観られていたというプレッシャーはありましたが、その中で自分の試合は一応出来たと思います。出場は今回が最後なので、絶対負けたくなかったですけど、僕の力のなさですね」

第47回全日本青年銃剣道大会 1 普連 (東京) が1部、2部ともに初優勝



団体戦青年第1部決勝、先鋒戦＝
1 普連 A・坂口 (右) が40 普連 A・蛭原 (左) を攻める

第47回全日本青年銃剣道大会 (主催) 全日本銃剣道連盟 が8月4日、日本武道館で開催された。

大会は、団体戦青年第1部 (226チーム、選手・監督880名)、団体戦青年第2部 (140チーム、選手・監督525名)、女子個人戦 (119名) の3部門で優勝を競った。

団体戦青年第1部、2部はそれぞれ第1普通科連隊 A (東京)、第1普通科連隊 (東京) が初優勝を果たした。女子個人戦は、大野裕美 (北海道選抜) が3回目の優勝に輝いた。

■団体戦 (3人制)

試合はトーナメント方式、3分3本勝負で争われた。試合時間内に勝負が決しない場合は判定により勝敗を決し、勝者数の多いチームを勝ちとした。

▽青年第1部 (高校生を除く15歳～30歳、自衛官は21歳～25歳)

決勝には1普連 A (東京) と、昨年優勝の40普連 A (福岡) が勝ち上がった。

先鋒戦、1普連 A・坂口と40普連

A・蛭原が対戦。開始から坂口は積極的に技を出して攻め込む。蛭原も負けじと技を出す。互いに攻め合うもなかなか打突部位を捉えられない中、坂口が一瞬の隙をついて小手で先制。あとがない蛭原は激しく攻め立てるも坂口は巧みにこれを捌いて貴重な1勝を挙げる。

続く中堅戦。1普連 Aの福田は40普連 A・池田の手元がわずかに上がつて空いた胴に、滑り込ませるように入ることなく攻め、一本勝。この時点で1普連 Aの初優勝が決定。大将戦では1普連 A・高木が試合終盤に上胴を決めてそのまま勝利。全勝で優勝に華を添えた。

◎優勝

1 普連 A (東京)・伊東 学 監督

「最高にいい気分です。結果が出ない中、何が足りないのか他の部隊に行って勉強して、それを一つにまとめて勝てました。最後は3人勝って気持ちよく帰ろうということでしたので、うまくまとめたと思います」

▽青年第2部 (高校生を除く15歳～21歳)

決勝戦では、1普連 (東京) と20



青年第2部決勝中堅戦＝1普連・蚊口（右）が
二本目の上胴で優勝を決める



女子個人戦決勝＝大野（右）が米津（左）に
一本目の上胴を決める



青年第1部優勝＝第1普通科連隊A（東京）



青年第2部優勝＝第1普通科連隊（東京）



女子個人戦優勝Ⅱ
大野裕美選手（北海道選抜）

普連（山形）が対戦。

先鋒戦、1普連・渡辺と20普連・

高橋が対決。試合中盤、渡辺は体格で勝る高橋に怯まず、前に出て上胴を決め1普連が先勝。

中堅戦、1普連・蚊口と20普連・安田の試合は序盤から激しい突きの打ち合いになるが、蚊口は安田の下胴を捌いて上胴で先制。蚊口は、追い込まれて前に出る安田との突きの打ち合いで再び上胴を決めて、二本勝で優勝を決めた。

大將戦は15普連・嘉藤が意地を見せて、1普連・豊川から下胴を奪って一本勝。最終的に2―1で1普連が嬉しい初優勝を果たした。

◎優勝Ⅱ

1普連（東京）・稲村正嗣監督

「銃剣道の助教を昨年始めて、その時に教えた選手たちが武道館で優勝できたので、すごく嬉しいです。技術的なことより気持ちで負けないようにと練習では伝えてきました」

■女子個人戦

前年優勝の藤江希（303ダンプ）は欠場。決勝の顔合わせは2回の優勝経験を誇る大野裕美（北海道選抜）と、初優勝を狙う米津沙紀（7普連）。

試合は開始直後に米津が鋭い上胴で先制。しかし、大野は慌てず落ち

着いて鮮やかな上胴を決めて並ぶ。

二本目の開始直後、米津の突きが大野の胴を捉えたかに見えたが、旗一本で惜しくも決まらない。その後、激しい攻防が続く、互いの突きが交錯すると、大野の上胴に旗が3本揃い、大野が逆転の二本勝で3度目の優勝を決めた。

◎優勝Ⅱ大野裕美選手（北海道選抜）

「正直ほっとしています。周りが見えて落ち着いた試合が出来ていたことが勝因だと思います。決勝で先一本取られた時も落ち着いていました。A級審判の資格をいただいたので、出場は今回で最後にして、来年は全国大会の審判をやりたいです」

【大会結果】

■団体戦

▽青年第1部Ⅱ①1普連A（東京）②40普連A（福岡）③16普連（長崎）、15普連B（香川）

▽青年第2部Ⅱ①1普連（東京）②20普連（山形、③40普連（福岡、11普連（北海道）

■女子個人戦

優勝Ⅱ大野裕美（北海道選抜）
2位Ⅱ米津沙紀（7普連）
3位Ⅱ坂田美咲（三条商業高校）
土屋 梢（10通大）

日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

(B5判・236頁)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ! 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(馬術)

日本武道館の歴史



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



武道

子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



大先輩に聞く

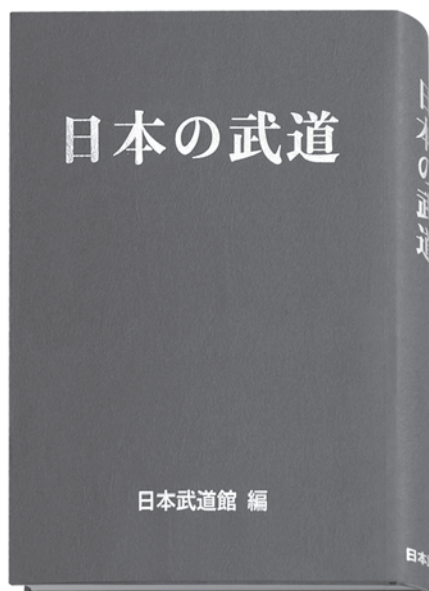
月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法などさまざまな銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!



日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



日本武道館 編

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

第 64 回全日本学生弓道選手権大会



男子団体決勝＝優勝した立命館大学（左から藤田裕基、當麻直哉、武石衛、小野隆哉、石山遼河）

第64回全日本学生弓道選手権大会（主催Ⅱ全日本学生弓道連盟）が8月9日～11日の3日間、日本武道館で開催された。

男子団体は、立命館大学が決勝で日本大学を破り、6年ぶり3度目の優勝、女子団体は、天理大学が中央大学に勝利し、初優勝を成し遂げた。

男子個人は、八寸7本目で新潟琢哉（日本大）が激戦を制した。女子個人は、八寸5本目で三橋摩癒（法政大）が1年生での優勝を果たした。

大会では初日に男子団体戦予選、2日目に女子団体戦予選と男女団体戦決勝トーナメント（1・2・3回戦）、そして最終日に男女団体戦決勝トーナメント（準決勝・決勝）と男女個人戦決勝射詰が行われた。

団体の部では男子は5人順立で1人4射、女子は3人順立で1人4射で実施。同中の場合は一手競射を行い、それでも決しない場合は決するまで一本競射を行った。

個人戦決勝には各地区で行われた個人戦を通過した者が参加。1・2本目は一手競射を行い、皆中した者が3本目に進んだ。3本目以降は一

本競射を行い、的中者のみが次へと進んだ。6本目よりの的を尺二星のから八寸的に変え、的中者が一人となるまで一本競射を行った。また、的中を逸した3位～10位の順位は、尺二線のの遠近競射により決定した。

■男子団体

216校が参加し、予選を行った。上位26校が決勝トーナメントに進出。

昨年3位までに入賞した明治大、桜美林大、日本大などが予選を通過。6年ぶりの優勝を目指す立命館大は準々決勝で鹿児島大を破り、準決勝では桜美林大に勝った法政大を16―15で破り、決勝に駒を進めた。

日本大は準々決勝で明治大と対戦し、19―16で前年優勝校を破った。決勝戦、立命館大は的中を重ねる。4射目も動揺することなく大前から中ていく。歓声は次第に大きくなり、落・石山遼河が的中し、20射皆中すると大歓声に包まれた。

対する日本大は二的が1射目を外し、三的も3射目を外してしまう。計2つ失中し、的中数は18中となり、惜敗を喫した。立命館大は6年ぶり、3回目の優勝となった。

◎男子団体優勝Ⅱ落・石山遼河（立命館大4年）

「自分が主将となつてずっと勝てていませんで、プレッシャーを感じながら臨んだ大会でした。最後、20射皆中で優勝することができて、最高の結果となつて嬉しいとともに、これまでチームの皆がついてきてくれて、本当に感謝です。この大会にあつて、どんな時も、相手に惑わされず、チームの調子が悪かろうが何だろが関係なく、自分の弓を引き切ることを第一に考えて、練習してきました。その結果がこの優勝な



男子団体優勝＝立命館大学

のかと思います。立命館は2回優勝しているものの、全日本は、近年予選敗退が多かったので、自分たちの時こそ優勝したいという気持ちでした。全日本を優勝したことで王座決定戦の出場権は確保できたのですが、推薦枠の形ではなくて、9月から始まる関西リーグを優勝して、正々堂々、関西チャンピオンとして王座に臨み、しっかり結果を残せるように頑張りたいです」

■女子団体

222校が参加し、男子同様、上位24校が決勝トーナメントに進出した。

2回戦で早稲田大に競り勝った天理大は準決勝で北海道大と対戦。天理大は矢中が目立つものの7―6で辛勝し、準決勝では大阪芸術大と対戦。ここで皆中を成し遂げて、12―7で決勝へと上り詰めた。

もう一方のブロックでは、2回戦で前年優勝校の近畿大が甲南大に敗れる波乱の展開となる。準決勝では、中央大がその甲南大を10―8で破り、決勝に進む。

決勝では、天理大は、大前が1射目、中が2射目を失中する。対する中央大は、大前が1・3射目を失中。

その後も、落が3・4射目を外してしまう。天理大が10―8で中央大を破り、初優勝に輝いた。

◎女子団体優勝Ⅱ落・岩下晴奈（天理大3年）

「率直に嬉しいかぎりです。団体で優勝できたというのはこれからの自

信にもなるし、いままでの練習の成果が実ったのだと思います。今回、初めての優勝ですので、新しい天理大の歴史を作れたというのも、すごい光栄なことです。これから秋にリーグ戦があるので、まずは一部昇格を目指して頑張っていきたいです」



女子団体決勝＝優勝した天理大学（左から磯江ほのか、輪玉実鈴、岩下晴奈）

■男子個人決勝

547名が参加。5本目が終了し、52名が通過した。6本目からは的が八寸的に変えられ、9本目（八寸4本目）が終了した時点で新潟琢哉（日本大）と品川純輝（関西学院大）の2名に絞られた。

八寸5本目、両者とも的中させる。そして八寸6本目、まずは新潟が中てる。続く品川もしっかりと詰める。的中を続ける両者に場内から大きな拍手が送られた。注目の八寸7本目、先の新潟はまたもや的中。

後に続きたい品川だが、会の時点で身体がわずかに動き、なかなか離れに移れない。苦心して放った矢は失中し、新潟の優勝が決定した。

◎男子個人優勝Ⅱ新潟琢哉（日本大）4年

「優勝はすごく嬉しいのですが、自分の今日の射を振り返ると悔いが残ります。何本続こうが自分の射がでなければ意味がありません。そこは課題です。この大会に向けて個人戦の取組は全くしていませんでした。やはり団体戦で負けたのが悔し

いです。次は、一カ月後のリーグ戦に優勝して、王座の切符を手に入れることが目標です」

■女子個人決勝

348名が参加、2尺的を5本目まで終了し、22名が通過。さらに11名、5名と絞られ、八寸的3本目が終わって三橋摩癒（法政大）と倉橋優果（名城大）の2名が残った。

八寸4本目では、緊張からか二人ともこれを外す。5本目、先に引いた倉橋が失中。場内の視線が三橋に集まる中、三橋は見事に的中し、1

年生での優勝を勝ち取った。

◎女子個人優勝Ⅱ三橋摩癒（法政大）1年

「すごく緊張しましたが、やるべきことをやろうを決めておりましたので、できてよかったなという感じがします。八寸4本目で外したときは“やっちゃったな”って感じてました。次は的中はどうであれ、やるべきことをやるだけでしたので、それほど気にはしていませんでした。今回の結果を踏まえ、さらに上に行けるように今後も努力していきたいです」



男子個人決勝＝新潟琢哉の八寸7本目



女子個人決勝＝三橋摩癒の八寸5本目



団体・個人の優勝者4名による納射



女子団体優勝=天理大学

【大会結果】

■団体

▽男子Ⅱ①立命館大学（6年ぶり3回目）②日本大学③法政大学
射道優秀賞Ⅱ立命館大学

▽女子Ⅱ①天理大学（初優勝）②中央大学③甲南大学
射道優秀賞Ⅱ天理大学

■個人

▽男子Ⅱ①新潟琢哉（日本大）②品川純輝（関西学院大）③山下篤（西日本工業大）④片山裕樹（金沢工業大）⑤森田敦也（近畿大）⑥栗栖潮（高知大）⑦徳永雅士（徳島文理大）⑧竹下徹（中部大）⑨荒木田優哉（日本大）⑩山口太一（長崎大）

▽女子Ⅱ①三橋摩癒（法政大）②倉橋優果（名城大）③岡村里緒（立命館大）④高木千緩（東北学院大）⑤岡本彩（明星大）⑥中澤琴乃（東北福祉大）⑦廣瀬有紀（三重大）⑧大塚いずみ（日本大）⑨森瑠美（松山大）⑩竹谷春香（東日本国際大）



マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5判・302頁・本体1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎（柔道）、高野佐三郎（剣道）、阿波研造（弓道）、双葉山（相撲）、船越義珍（空手道）、植芝盛平（合気道）、宗道臣（少林寺拳法）、園部秀雄と三田村千代（なぎなた）、鶴沢尚信（銃剣道）

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

好評発売中



四六判・上製・484 頁

弓道

その歴史と技法

国際武道大学教授

松尾牧則

(まつお まきのり) 著

弓矢の発生から日本における弓術の発達、技法の発展の歴史を追いながら概観し、また、世界の弓術の数々も紹介。現代の弓道の課題や射法についても踏み込んだ、弓道研究の第一線に立つ著者渾身の一書。巻末には、五百冊以上に及ぶ参考文献や、人名索引・事項索引を掲載。弓道のみならず、武道研究者必携の書。

目次

第一章 弓矢の発生と世界の弓術

弓矢の発生と性能向上の工夫／世界の弓矢と射法／W T A F にみる世界の弓術

第二章 日本の弓矢と弓術

日本の弓矢の特性——初期の弓矢／日本弓の変遷と特徴ある形状／日本の矢と弓矢関連具／レクリエーション、儀式としての弓術／歩射と騎射／弓矢の誉

第三章 弓術流派と目的に応じた射術

武術の分化と伝達様式の整備／日置弾正と勧進的の流行／日置弾正正次の肖像と技法／弓術諸流派の技法と伝承／大和流弓術とその伝達様式／三十三間堂通し矢の誉——堂射の隆盛と弓具・技法の工夫／「五射六科」五射の実践／「五射六科」六科の教養／弓術稽古の意義と心得

第四章 弓術から弓道へ

弓術の衰退と命脈——明治時代の弓術／「弓術」から「弓道」へ——大正と昭和初期の弓術／昭和初期の戦中の弓道／戦後の弓道復活と連盟組織

第五章 現代の弓道と将来展望

現在の弓道連盟と競技・審査／新素材の弓具／弓具・服装・施設／学校教育における弓道／現代弓道の体系化された技法①／現代弓道の体系化された技法② 射法八節の要点／弓道——その将来展望と課題

参考文献・索引

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)

武道の全容をこの一冊に集大成！



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)

『日本の武道』の英文版 (DVD 付)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)

武道における礼法を小笠原流宗家が直々に指南



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

(四六判・上製・278頁)

武道をわかり易く描いた教養マンガ



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

希代の弓人阿波研造の人物伝



霊箭 阿波研造物語

小学校教諭

馬見塚昭久 著

(四六判・上製・320頁)

日本人が拠り所としてきた価値観を詳説



日本の元徳

東京大学大学院教授

菅野 覚明 著

(四六判・上製・334頁)

『五輪書』などの代表的な武道伝書を詳解



武道伝書を読む

天理大学教授

湯浅 晃 著

(四六判・上製・348頁)

著者の半生をたどり、弓道の魅力に迫る



弓道 その魅力

山口大学名誉教授

岡村豊太郎 著

(四六判・上製・272頁)

子どもを育む武道の教育力を詳説



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)

武道の文化的・伝統的な事柄を解明



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



小学生団体決勝・副将戦＝
昭島中央剣友会・増森（左）対いばらき少年剣友会・矢萩（右）

中学生団体決勝・代表戦＝
東松舘・門間（右）対今宿少年剣道部・田城（左）

第51回全国道場少年剣道大会

〈小学生の部〉

〈中学生の部〉

昭島中央剣友会、東松舘道場が2連覇

ベスト4に勝ち残ったのは、昭島中央剣友会（東京）、いばらき少年

小学生の部（26日・537チーム）

小・中学生ともに16コートに分かれてトーナメント戦を行い、コート代表を決定。その代表16チームによるトーナメント戦で剣道道場日本一を争った。試合時間は小学生が2分、中学生が2分30秒。三本勝負で行われ、勝敗の決しない場合は引分けとなる。勝者数、総本数も同数の場合は、任意選出による代表戦を時間無制限の一本勝負で行った。

第51回全国道場少年剣道大会（主催Ⅱ全日本剣道道場連盟）は7月26日・27日の両日、日本武道館で開催された。大会には全国各地の予選を勝ち抜いた小・中学生合わせて958チーム、約4800名が出場した。
小・中ともに団体戦が行われ、小学生の部は、昭島中央剣友会（東京）が決勝でいばらき少年剣友会（茨城）を破って優勝。中学生の部は、東松舘道場（東京）が決勝で今宿少年剣道部（福岡）に勝利し、それぞれ2連覇を飾った。

「全試合、楽な試合は一つもなく、胃に穴が空くんじやないかと思いましたが、大将の藤田がよく頑張りました。決勝戦では、特に去年出られ

◎優勝Ⅱ昭島中央・三浦昇一郎監督
副将戦。昭島・増森がいばらき・矢萩から返し胴を奪い、そのまま一本勝。昭島は昨年に続いて優勝を決めた。大将戦は引分けとなった。

決勝は昭島中央といばらきの対戦。昭島中央の先鋒・酒井が小手で一本勝。さらに昭島中央の次鋒・佐多賀は、いばらき・橋本の面を返して胴を決め、続けて面を奪って二本勝ち。勝負のかかった中堅戦。巻き返しを図るいばらき・和田が面を決めて勝利。勝負の行方は、副将戦へと持ち越された。

剣友会（茨城）、福岡如水館（福岡）、東松舘道場（東京）の4チーム。
準決勝、昭島中央剣友会と福岡如水館の試合は、3―1で昭島が勝ち、昨年に続いて決勝進出を決めた。
もう一方の準決勝、いばらき少年剣友会と東松舘道場の試合は、いばらきが2―1で東松舘を降して、22年ぶりの優勝を狙って決勝の舞台へと勝ち進んだ。

なかった中堅、副将が頑張りました。次の大会で負けないよう、緩まないよう、また一からやります」

◎優勝Ⅱ昭島中央大将・藤田快生選手
「大将戦まで激戦が続いて、負けたら終わりなので緊張しました。チームの期待を裏切らないよう最後まで戦えたので良かったです」

◎優勝Ⅱ昭島中央副将・増森勇輝選手
「準々決勝と準決勝は、最後に大将が取ってくれたので勝つことができました。決勝では、自分が最後決めれば優勝だったので、思い切って打ちにいました」



小学生団体優勝＝昭島中央剣友会（東京）

中学生の部（27日・421チーム）

4強には、東松館道場（東京）、いばらき少年剣友会（茨城）、今宿少年剣道部（福岡）、菊池南剣道クラブ（熊本）が勝ち上がった。

準決勝、東松館といばらきの試合。東松館が先鋒、中堅から大将まで勝利し、危なげない試合展開を見せて4-0で勝利した。

もう一方の準決勝は、今宿少年剣道部対菊池南剣道クラブ。先鋒の今宿・小柳が小手を二本決めて勝利。

次鋒戦は、菊池南・植嶋が面で先制するも、今宿・中峰が小手を返して引分け。今宿リードのまま、中堅以降3戦が引分けとなり、今宿が31年ぶりに決勝進出を果たした。

決勝は東松館対今宿。先鋒、次鋒と引分け。続く中堅戦は、試合中盤に今宿・斉藤が鋭い面を奪う。東松館・西口も必死に攻めるが、猛攻空しく、斉藤の一本勝となった。さらに副将戦。試合中盤、東松館・原田が今宿・谷口の出ばなに小手を決めて勝利。大将戦へとつなぐ。

勝負のかかった大将戦、序盤からともに慎重な試合運びとなり、終盤

につれて両者の手数が増えていく。しかし、試合に動きがないまま引分け。勝敗の行方は、さらに代表戦へと持ち越された。

代表戦は、大将同士の戦い。積極的に前に出る今宿・田城に対し、東松館・門間は反応鋭く、冷静に対処する。立会で、門間が素早く間合いを詰める、田城が打ちに入り、手元が上がったところを門間が返し胴を決めて勝負あり。東松館は連覇を達成。5度目の優勝を果たした。

◎優勝Ⅱ東松館・井上亮監督

「本当に厳しい試合でしたが、門間が踏ん張ってくれました。4年前に小学生の部で優勝したこのメンバーで、中学生の部でも優勝してほしいと、稽古は厳しいものとなりました。半年前は、九州の強豪チームとの練習試合で連敗でした。そこから立て直して、本日優勝できました。選手たちも自信になったと思います」



中学生団体優勝＝東松館道場（東京）

◎優勝Ⅱ東松館大将・門間光児選手
「優勝できて嬉しいです。代表戦は緊張しませんでした。最後に決めた胴は狙ったわけではなく、自然に反応できました」

【大会結果】

▽小学生の部Ⅱ①昭島中央剣友会（東京）②いばらき少年剣友会（茨城）③福岡如水館（福岡）、東松館道場（東京）

▽中学生の部Ⅱ①東松館道場（東京）②今宿少年剣道部（福岡）③いばらき少年剣友会（茨城）、菊池南剣道クラブ（熊本）

日本武道館の単行本

著者の80年の生涯にわたる 剣道修錬を集大成した 本格的剣道修行論

好評発売中!



写真提供 剣道時代

目次

- 第一章 剣道
- 第二章 剣道の歴史
- 第三章 修錬・先人に学ぶ
- 第四章 剣道の極意
- 第五章 武道における「礼」
- 第六章 剣理
- 第七章 指導者としての心構え

全日本剣道連盟相談役・剣道範士九段

堀籠 敬藏 著

(四六判・上製・344頁)

剣の清流



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



高め合う剣道

筑波大学名誉教授

佐藤 成明 著

(四六判・上製・564頁)



刀剣の 歴史と思想

筑波大学大学院准教授

酒井 利信 著

(四六判・上製・346頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



禅の思想と剣術

北海道大学大学院教授

佐藤 錬太郎 著

(四六判・上製・386頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



人を育てる剣道

剣道範士八段

角 正武 著

(四六判・上製・268頁)



武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

(四六判・上製・274頁)

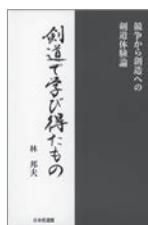


兵法家伝書に学ぶ

文教大学教授

加藤 純一 著

(四六判・上製・344頁)



剣道で 学び得たもの

中京大学教授

林 邦夫 著

(四六判・上製・298頁)

第32回わんぱく相撲全国大会

小学6年生の部

内田京汰が初のわんぱく横綱に

5年生は山下昇介、4年生は福原丈一郎が優勝

7月31日、両国国技館では、第32回わんぱく相撲全国大会が開催され、各地の予選を勝ち抜いた小学6・5・4年生の選手、各131名の計393名が、3部門のわんぱく横綱をめざして白熱した試合を繰り広げた。小学6年生の部では、内田京汰（焼

津）が初めて、小学5年生の部では、山下昇介（鹿屋）が2年連続、小学4年生の部では福原丈一郎（宇和島）が初めて優勝し、わんぱく横綱に輝いた。また、個人戦のポイント合計で競われる団体戦では五所川原（青森県）が優勝を果たした。

◆小学6年生の部
内田京汰（焼津）は危なげない相撲で勝ち進み、5回戦では武内楓夢（福井）を押し出す。準々決勝では、神藤輝（大阪たこ焼き）の両脇を差し、その体勢から相手の右脇を上げ、掬い投げを決めた。



小学6年生の部決勝＝内田（左）が寄り切って初のわんぱく横綱に



小学6年生の部準決勝＝内田（左）の肩透かし



小学6年生の部準決勝＝成田（左）の送り出し

なりたりきどう
成田力道（五所川原）は100kg超の

体格を活かし、順当に勝ち上がる。

準々決勝では成田より大柄な正田悠

倫（札幌）と対戦。成田は正田を送

り出そうとする。正田は堪えようと

するが、成田は両手を押しつけ、押

し出しを決めた。他に準決勝進出を

決めたのはアルタンゲレル・ソソル

フー（モンゴル）と三浦智一（弘前）。

▼準決勝

内田京汰 ○肩透かし アルタンゲ

レル・ソソルフー

立ち合後、諸差しの状態となった

内田。相手の左脇を上げると、サツ

と体を右へ開くとともに、右手を外

し、相手の右肩口をすばやく叩いて

落とした。アルタンゲレルはたまた

ず左手を地に着け、内田は初めて決

勝戦に上り詰めた。

成田力道 ○送り出し 三浦智一

三浦は成田のまわしを掴もうとす

るが、成田は勢いよく突っ張り、三

浦のそれを阻む。激しい成田の突っ

張りに、三浦の上半は上がり、後傾

になる。そのまま送り出して、成田

は3度目の決勝進出を決めた。

▼決勝

内田京汰 ○寄り切り 成田力道

一昨年、昨年と準決勝で成田力道

に敗れた内田京汰は、決勝で3回目

の成田との対決となった。そして成

田はわんぱく横綱3連覇を狙う。

立ち合後、成田は内田の上半を

起こそうと突っ張りを繰り返すが、

内田はこれを耐え、諸差しで成田の

まわしを掴もうと押し進む。息の上

がった成田を土俵際に追いつめよう

とする。内田は左手で上半の上がつ

た成田のまわしを掴んだ。土俵際、

寄り切られまいと成田は小手投げを

繰り返すが決められない。スタミナ

ぎれの成田を寄り切って、内田は初

めてわんぱく横綱に輝いた。

◎優勝Ⅱ内田京汰選手（焼津）



「勝って本当に嬉
しいです。大会に向
けて、立ち合いなど
の練習をしてきま

した。決勝は内容のいい相撲をとつ
て、悔いのないようにしようと臨み
ました。勝因は立ち合いがうまくいっ
たこと。憧れの力士は白鵬です。将
来は、力士か、大好きな相撲を教え
る立場になりたいです」

◆小学5年生の部

連覇を狙う山下昇介(鹿屋)は安定した相撲で勝ち上がる。準々決勝では、奈良昂(五所川原)を寄り切った。昨年、決勝で山下に負けている坂本正真(墨田)は巧みな相撲で駒を進めた。準々決勝は大手希星(宇城)に肩透かしで勝利した。他にベ

スト4に残ったのは、横山司(足立)と山科啓容(津)。

▼準決勝

山下昇介 ○寄り倒し 横山 司

立合い、低く当たった山下に横山は胸で受ける。山下は素早く左に差し、時計回りに反転。そのまま横山

を追いつめる。左四つから山下を寄り倒して決勝に進出した。

坂本正真 ○押し出し 山科啓容

諸差しの形をとった坂本。坂本が左手を大きくあげると、山科は右脇が開き不安定になる。坂本は前に出続け、押し出しで決勝に進んだ。

▼決勝

山下昇介 ○首投げ 坂本正真

昨年と同じ顔合せとなった決勝。優勝を遂げている。

立ち合い後、諸差しの体勢をとった坂本に対し、とつさに山下は反応する。山下は左手で坂本の首を掴み、右足を開いて右手を外から坂本の左脇に絡め、坂本の左を殺し、左手は坂本の背に添えた。そのまま右足に体重を乗せ、捻りながら土俵で坂本を勢いよく投げた。

見事な首投げが決まり、山下は2連覇を達成。今年もわんぱく横綱の称号を手中に収めた。

◎優勝Ⅱ山下昇介選手(鹿屋)



「優勝できてよかったです。決勝では、昨年と同じ坂本選手との対戦となりました。」



小学5年生の部準決勝=坂本(左)



小学5年生の部準決勝=山下(左)



小学5年生の部決勝=山下(左)が首投げを決める

りました。しかし、余計なことは考えず、思いっきりあたってまわしをとり、精一杯押していこうと、臨みました。結果、立ち合い後のあたりがよくでき、自分の相撲をとることができたと思います。コーチに感謝したいです」

◆小学4年生の部

準決勝に進出したのは福原丈一朗（宇和島）、西島悠来（千葉県柏）、杉本智斗勢（御坊）、西出大毅（和歌山）。

▼準決勝

福原丈一朗 ○下手投げ 西島悠来

身体の大きな西島から諸差しの形をとった福原は、西島のまわしを掴み、突き上げて寄る。土俵際の攻防となり、西島は押し出そうとするが、それを福原はいなし、下手投げに転じ、勝ちを収めた。



小学4年生の部準決勝＝福原（奥）と西島



小学4年生の部準決勝＝杉本（左）と西出



小学4年生の部決勝＝福原（左）が寄り切りで優勝

▼決勝

福原丈一朗 ○寄り切り 杉本智斗勢

立合い、杉本の激しい突き出しに福原は体があがるものの、諸差しの姿勢をとった。勢いよく押し出そうとする福原に対し、これを堪えようとする杉本。最後は福原が寄り切つて勝利し、優勝となった。

杉本智斗勢 ○押し出し 西出大毅

右4つの体勢から、土俵中央での押し合いとなる。西出は押し出そうと仕掛けるが前傾になってそれを堪える杉本。杉本は右に回り、そのまま押し出して勝利。決勝へと進んだ。



「優勝するとは思っていなかったの
で、嬉しいです。将来は、白鵬関のような力強い力士になりたいです」



【大会結果】

◆小学6年生の部

◎横綱 内田京汰（焼津）

○大関 成田力道（五所川原）

▽関脇 三浦智一（弘前）

▽関脇 アルタンゲレル・ソソルフ（モンゴル）

◆小学5年生の部

◎横綱 山下昇介（鹿屋）

○大関 坂本正真（墨田）

▽関脇 横山 司（足立）

▽関脇 山科啓容（津）

◆小学4年生の部

◎横綱 福原丈一朗（宇和島）

○大関 杉本智斗勢（御坊）

▽関脇 西島悠来（千葉県柏）

▽関脇 西出大毅（和歌山）



わんぱく横綱たち
左から福原（4年）、山下（5年）、内田（6年）

日本武道館発行 単行本のご紹介

相撲 その歴史と技法

東京大学大学院
法学政治学研究科教授

新田 一郎 著



四六判・上製・422頁・2,400円＋税

相撲の成立から現状を経て将来像への歴史の概略をたどり、相撲技術の歴史的な変遷について概観する。
「相撲はどこから来たのか、相撲とは何か、相撲はどこへ行くのか」を問う著者渾身の一書。

マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学客員教授 田代しんたろう 著
B5判・302頁・本体1,000円＋税



収録偉人

嘉納治五郎(柔道)
高野佐三郎(剣道)
阿波研造(弓道)
双葉山(相撲)
船越義珍(空手道)
植芝盛平(合気道)
宗道臣(少林寺拳法)
園部秀雄と美田村千代
(なぎなた)
鶴沢尚信(銃剣道)

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」。人気を博した「武道の偉人」シリーズが単行本化！ 現代武道9道の普及・発展に尽力した偉人たちの生涯を通じて、各道の歴史をひも解きます。大人も子供も楽しく読んで、歴史も学べる武道教養マンガ。

役に立つ 少年剣道指導法

香川大学教授・同教育学部学部長、
医学博士、剣道教士八段 山神真一 著
A5判・並製・258頁・DVD付・本体2,400円＋税



解説DVD付属！



少年剣道指導の現場で役に立つ月刊「武道」好評連載を単行本化。少年剣道指導者必読の一書。付録のDVDには、写真では伝え切れなかった実技関連の部分を収録時間115分を超える映像で紹介。



編集・発行 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行 単行本のご紹介

小笠原流の伝書を読む



弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家 小笠原清忠 著

鎌倉時代から江戸時代にいたる武家礼法で、弓術、弓馬術と結びついた小笠原流。まずは小笠原家の歴史をその起源から概観し、続いて礼法の総論を述べる。さらに小笠原家に伝わる『修身論』や『体用論』などの伝書や教歌を繙いていく。伝書や教歌の原文を記して、その教えが現代にどう活かされているのか具体的な事例を挙げながら解説。

四六判・上製・322頁 本体2,400円+税

なぎなたに夢を馳せて



沖縄県なぎなた連盟会長 長濱 文子 著

沖縄のなぎなたを、ゼロの状態から「県技」といえるほどに成長させた道のり、その裏にあった関係者の惜しみない努力、成功に導いた数々の工夫を、沖縄県なぎなた連盟設立以来の会長であり、全日本なぎなた連盟会長も務めた著者が綴る。なぎなた普及のあゆみを知ることができるのはもちろん、著者が長年の事業経営・なぎなた組織運営を通して得た人生の教訓や教育論から、様々なことを学べる一冊。

四六判・上製・354頁 本体2,400円+税

柔道 その歴史と技法



筑波大学名誉教授 藤堂 良明 著

柔道の技法が、どのように形づくられてきたのかを、体術の起こり、柔術諸流派の歴史に遡り、丁寧にひもとく。さらには、全日本選手権やオリンピックを始めとした各種競技大会にみられる技法を分析し、今後の課題を探る。

四六判・上製・330頁 本体2,400円+税

脳を活性化する



脳生理学・医師東邦大学名誉教授 有田 秀穂 著

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経——その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もができる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。

A5判・並製・346頁 本体1,600円+税

弓道 その歴史と技法



筑波大学体育系准教授 松尾 牧則 著

弓矢の発生から日本における弓矢の発達、技法の発展を歴史を追いつながりながら概観し、また、世界の弓術の数々も紹介。現代の弓道の課題や射法についても踏み込んだ、弓道研究の第一線に立つ著者渾身の一書。巻末には、五百冊以上の参考文献や、人名・事項索引を掲載。弓道指導者必携の書。

四六判・上製・484頁 本体2,400円+税

役に立つ少年柔道指導法



公益財団法人講道館道場指導部課長 向井幹博 著

少年柔道指導の現場で役に立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくかった部分を映像で紹介。また、少年柔道が抱える様々な問題点を、講道館所蔵の柔道文献から、解決の糸口を探っていく。

A5判・並製・414頁・DVD付 本体2,400円+税

高め合う剣道



筑波大学名誉教授 佐藤 成明 著

先達が心血を注いで残した「教育剣道の灯」を、正しく受け継ぎ、次代へ正しく受け渡すために、教育剣道の実践者として長年の経験をもつ筆者が、古今の文献を手掛かりに日々の修練で大事な事柄を綴る。これからの剣道の在り方、すべての剣道を学ぶ者が「互いに学び、高め合う剣道」の在り方を考えるために必携の一書。

四六判・上製・564頁 本体2,400円+税

平法 天真正伝香取神道流



天真正伝香取神道流師範 大竹 利典 著

近世剣術の源流として知られる天真正伝香取神道流の全伝を受け継ぐ著者が、その膨大な武と知を語る。香取神道流の歴史、剣術・居合術・薙刀術・手裏剣術などの武術、方術・築城術などの通甲術や軍学兵法を、伝書を基に紹介。さらに、七十年近い修行人生を振り返り、武を志すすべての者に必要な「平法（へいほう）」の思想について語る。

四六判・上製・296頁 本体2,400円+税



編集・発行 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

リオデジャネイロ五輪 柔道競技



過去最多 12 個のメダル獲得

金 3、銀 1、銅 8

後列左から、羽賀、永瀬、海老沼、高藤、近藤、中村、松本、山部
前列左から、原沢、ペイカー、矢野、田知本

リオデジャネイロ五輪柔道日本選手団が8月15日に帰国し、成田空港にて井上康生全日本男子監督、南條充寿全日本女子監督、メダリスト12名が記者会見を行った。

リオ五輪で男子は、金2、銀1、銅4と、7階級すべてでメダルを獲得。全階級メダル獲得は、4階級で行われた1964年の東京五輪以来52年ぶり、7階級となった88年のソウル五輪以降では日本が初めて。

また女子も、金1、銅4の好成績を残した。一大会で男女合わせて12個のメダル獲得は過去最多となる。

帰国ロビーに姿を現したメダリストたちは、待ち構えていた多くのファンから拍手で迎えられ、関係者から花束が手渡された。記者会見では、始めに両監督から大会を振り返った感想が述べられた。

▽井上康生全日本男子監督

「この結果というのは選手が死力を尽くしたのはもちろんのこと、指導側共々、よきチームとして一つにまとまったことによるものだと思う。最高の選手たちと最高のスタッフ、そして最高の環境で戦えたこと。そ

れは選手の自信にもつながったのではないか」

▽南條充寿全日本女子監督

「大会では、選手たちの頑張りで、ここまでやれることができました。選手たちがリオ五輪柔道日本代表として、精一杯戦ってくれたこと、それを誇りに思います」

4年後の東京五輪に向けて、両監督より決意が述べられた。

▽井上康生全日本男子監督

「試合が終わった次の日から動き出さなければなりません。4年後に向けて改めてスタートとなりました。日本柔道チーム一丸となって取り組んでいきたいと思います」

▽南條充寿全日本女子監督

「もう東京五輪まで4年をきり、すでに次の戦いは始まっていることを感じます。そして世界での柔道における4年後の状況は大きく変わっていることと思います。気を引き締めてやっていかなければなりません」



最後に、選手たちより、リオ五輪の感想と4年後の東京五輪へ向けた決意が述べられた。

【金】女子70kg級Ⅱ田知本通



「念願の夢が叶えられました。東京でも頑張りたいです」

【金】男子73kg級Ⅱ大野将平



「圧倒的な差をつけて優勝することができました。嬉しいです。4年後、気持ちを切り替えていきたい」

【金】男子90kg級Ⅱベイカー茉秋



「小さい頃の夢が実現できて本当に良かったです。4年後もベストを尽くします」

【銀】男子100超kg級Ⅱ原沢久喜



「金には届きませんでしたが、銀メダルをとれてよかったです。前回の東京五輪では無差別で負けていますので頑張りたいです」

【銅】女子78kg超級Ⅱ山部佳苗



「金メダルには届きませんでした。が、銅をとることができました。もう一度、一から頑張ります」

【銅】女子57kg級Ⅱ松本薫



「多くの方が日本からリオまで応援に来てくれました。すごい励みになりました」

【銅】女子52kg級Ⅱ中村美里



「今までやってきたことをリオでやって銅をとることができました」

【銅】女子48kg級Ⅱ近藤亜美



「金メダルがとれずにごく悔しいです。次につなげたいと思います。東京では金を目指したいです」

【銅】男子60kg級Ⅱ高藤直寿



「金メダルをとることを目標にやってきたので、悔しい気持ちでいっぱいですが、銅メダルと金メダルとの差を感じながら、頑張ります」

【銅】男子66kg級Ⅱ海老沼匡



「最初は悔しい気持ちでしたが、このチームで、最高の舞台で戦えて非常に光栄なことだと感じました」

【銅】男子81kg級Ⅱ永瀬貴規



「これが自分の実力だと認めて、今回の経験を活かして次を目指したい」

【銅】男子100kg級Ⅱ羽賀龍之介



「金メダルを目指し、4年間やってきたので、悔しい思いが強いです。今は少し休んで東京を目指します」

※リオ五輪柔道競技の詳細は10月号に掲載予定。



花束を受ける男子選手団



到着ロビーに姿を現した女子選手団

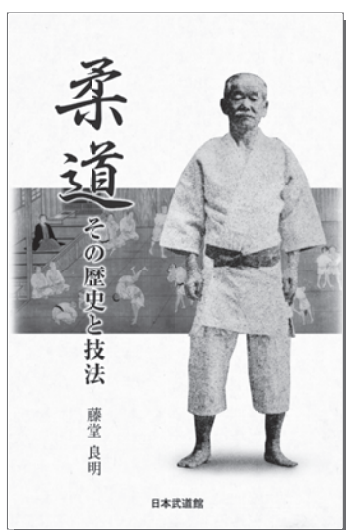
好評発売中!

柔道

その歴史と技法

筑波大学体育系教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円＋税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた[※]武道としての柔道、を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

目次

第一章 組討ちの起こりと技法

体術の起こりと技法
組討ちの体系化と技法

第二章 柔術諸流派の歴史と技法

竹内流腰廻
関口新心流柔術
起倒流柔術
起倒流柔道
直信流柔道
真之神道流柔術
天神真楊流柔術

第三章 講道館柔道の歴史と技法

講道館柔道の創設と技法
嘉納治五郎の乱取開発
講道館柔道の行事と整備
警視庁武術大会の勝利と技法
学校体操への柔道導入の試み
学校における柔道普及の実態
高専柔道の起こりと技法
嘉納治五郎の他武道への接近
精力善用国民体育の創案と技法
全日本柔道選士権大会の開催と技法

第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法

第二次大戦中の柔道界と技法
第二次大戦後の柔道禁止と復活
格技柔道から武道柔道へ
女子柔道の競技化と技法

第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題

柔道技法の変遷と特徴
柔道の国際的普及と発展
段位制度の国際比較
柔道の国際化と課題



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)

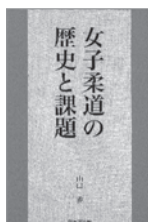


役に立つ 少年柔道指導法

講道館道場指導部課長

向井 幹博 著

(A5判・並製・DVD付・414頁)



女子柔道の 歴史と課題

筑波大学体育系准教授

山口 香 著

(四六判・上製・412頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)

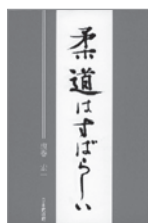


武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



柔道は すばらしい

柔道塾紀柔館館長

腹巻 宏一 著

(四六判・上製・310頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



武道 子どもの心を育む

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



柔道の国際化 —その歴史と課題—

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・552頁)



嘉納治五郎師範に学ぶ

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・292頁)



平成 28 年度全日本少年少女武道錬成大会が、7 月 17 日の合気道を皮切りに、弓道 (18 日)、剣道 (23 日・24 日)、空手道 (30 日)、柔道 (31 日)、銃剣道 (8 月 3 日)、少林寺拳法 (6 日)、なぎなた (7 日) の計 8 種目 9 日間、全国からおよそ 1 万 6300 名の参加を得て開催された。

酷暑の中、参加者たちは、日頃の修錬の成果を存分に披露し、仲間と一緒に基本、試合、演武と錬成に汗を流した。



少林寺拳法



なぎなた



空手道



弓道



剣道

特集

平成28年度
全日本少年少女武道錬成大会

順道利勝
道場

平成28年度

全日本少年少女武道錬成大会



合気道



柔道



銃剣道



7月17日

合気道

175 団体 2,443 名参加

開会式では、奥田幹生日本武道館常任理事と植芝守央合気会理事長が挨拶。続いての基本稽古では、全員で舟漕ぎ運動を行った後、第1部（小1・2）、第2部（小3・4）、第3部（小5・6）、第4部（中1〜3）に分かれ、稽古錬成に励んだ。演武錬成では、道場を5つに分け、団体ごとに演武を披露した。参加者は互いに汗を流し、技を確認し合った。最後に、植芝充央本部道場長を初めとする本部道場指導部による演武が行われた。



総合演武
（植芝充央本部道場長）



ちかいのことば
小林蒼央・保刈琴心音
(新潟合気会新潟みなと道場)



植芝守央
合気会理事長



奥田幹生
日本武道館常任理事





7月18日

弓道

96 団体 1,248 名参加

開会式では、松永光日本武道館会長と柴田猛全日本弓道連盟会長が挨拶を述べた。ちかいのことは（選手宣誓）は、選手代表の鹿北中学校の選手3名により、堂々で行われた。基本錬成では、選手たちは大道場いっぱいに広がり、磯部孝教士七段による指揮の下、徒手八節を行い、正しい射法を錬磨した。外国人演武者による特別演武の後、試合錬成に移り、男女とも3名が各4射、計12射を行い、6中以上が予選を通過。決勝は的中数により競われた。



特別演武（ハワード・ホン錬士五段・台湾出身）



ちかいのことは
村木優斗・原田祐希・渡邊耕平
(熊本・鹿北中学校)



柴田 猛
全日本弓道連盟会長



松永 光
日本武道館会長





7月23日・24日

剣道

743 団体 5,094 名参加

開会式では、23日は三藤芳生日本武道館理事・事務局長と稲川泰弘全日本剣道連盟副会長が、24日は松永光日本武道館会長と松永政美全日本剣道連盟副会長が挨拶。

開会式の後、出場選手全員が大道場に広がって準備運動と素振りを行った。

試合は5人制の団体戦で基本判定試合と一本勝負を行い、ベスト8からは三本勝負の試合で争われた。

少年少女剣士たちは、暑さにも負けず日頃の稽古の成果を発揮した。



公開演武「木刀による剣道基本技稽古法」
(東京・調布市剣道連盟)



ちかいのこたば (24日)
中原瑠美
(高知・野市町スポーツ少年団剣道部)



ちかいのこたば (23日)
寒河江清志郎・小出愛菜・工藤亮介
(東京・小平市剣道連盟鈴木小剣道教室)



松永政美
全日本剣道連盟副会長





7月30日

空手道

142 団体 2,034 名参加

開会式では島村宜伸日本武道館常任理事、笹川堯全日本空手道連盟会長が挨拶を行い、参加者を激励した。基本錬成では、渡辺純一七段の指揮、号令のもと、全員で力強く基本の突き、蹴りを行い、汗を流した。続く試合錬成では、小学生3部門、中学生1部門の計4部門で、1チーム3人制の団体戦形競技を実施。勝ち抜いた16チームが決勝トーナメント（組手競技）に進出した。会場では一所懸命に競技に取り組む選手たちの真剣な姿が見られた。



模範演武・団体形「ウンスー」
西原啓太二段・林田至史二段・本一将二段



ちかいのことば
須藤蓮太（山形県・三川町
空手道スポーツ少年団）



笹川 堯
全日本空手道連盟会長



島村宜伸
日本武道館常任理事





7月31日

柔道

263 団体 2,670 名参加

開会式では、松永光日本武道館会長と松井勲全日本柔道連盟大会事業委員会委員長が挨拶を行い、平井明成スポーツ庁スポーツ統括官が祝辞を述べた。

基本錬成では、持田達人氏が指揮し、強化選手4名による模範演武と技の解説が行われた。続いて、かかり稽古では、各団体の指導者が元立ちとなり、参加者は元氣一杯に基本錬成を行った。試合錬成では、低学年（3・4年生）と高学年（5・6年生）に分かれ、熱戦を繰り広げた。



模範演武（左：ウルフラロン）



ちかいのことば
渡辺康成
(福島・飯坂柔道スポーツ少年団)



松井 勲
全日本柔道連盟大会事業委員会委員長



平井明成
スポーツ庁スポーツ統括官





8月3日

銃剣道

40 団体 223 名参加

はじめに都道府県ごとに参加者が入場行進。拍手に包まれながら大道場を一周して整列した。

開会式では、白井日出男日本武道館理事長と酒井健全日本銃剣道連盟会長が挨拶を行った。

開会式終了後、特別演武「銃剣道基本・応用技」が披露され、続いて行われた銃剣道と短剣道の合同錬成に汗を流した。試合錬成では、銃剣道と短剣道の個人戦と団体戦がそれぞれ行われ、参加者は日頃の稽古の成果を存分に発揮した。



特別演武 坂田美咲初段・目黒雪乃初段（新潟県立三条商業高校）



ちかいのことば
堀口 授
(北海道・名寄ピヤシリ銃剣道少年団)

酒井 健
全日本銃剣道連盟会長

臼井日出男
日本武道館理事長





8月6日 少林寺拳法

200 団体 1,451 名参加

本年は「ワクワク ～あなたとともに～」を大会テーマとして開催。開会式では、高村正彦日本武道館常任理事と宗由貴少林寺拳法グループ総裁が挨拶を行った。

基本錬成では、拳士は大道場に広がり、突きや蹴りなど基本となる対人的技能を習練。続く演武錬成では、学年、階級ごとに演武を披露し、点数形式で競い合った。稽古錬成では、全員で突きと蹴りをそれぞれ40回・30回行った。閉会式では川島一浩少林寺拳法連盟会長が挨拶を述べた。



模範演武（清瀬高等学校少林寺拳法部）



鎮魂行主座
嶋田倫太郎
(群馬北毛道院拳友会)



宗 由貴
少林寺拳法グループ総裁



高村正彦
日本武道館常任理事





8月7日

なぎなた

144 団体 1,138 名参加

錬成大会の最終日はなぎなた。開
会式では、松永光日本武道館会長と
佐藤浩市全日本なぎなた連盟会長が
主催者挨拶に立った。
基本錬成では、参加者が大道場に
広がり、準備体操を行った後、基本
の素振り、体捌き（たがひ）を行った。
演技競技（小・中の4部）では、
2名1組となり、凜とした姿勢で基
本の打ち・受け・捌きを演武。
試合競技（小3〜中3の学年ごと）
では、防具をまとい、元氣あふれる
技を披露し、試合を行った。





ちかいのことば
山根千慶
(岡山・養徳館)



佐藤浩市
全日本なぎなた連盟会長



平成28年度

全日本少年少女武道錬成大会 受賞一覧

平成28年7月17日から8月7日までの9日間にわたって、日本武道館で行われた平成28年度全日本少年少女武道錬成大会の受賞一覧を、掲載いたします。

会本部道場少年部)、磯忠良(日本武道館武道学園)、佐藤俊武根・佐藤傑武根(東村山シダックスカルチャーセンター)、土屋璃織・佐藤潤(あおぞら合気道)、藤田雅都・樋口晴菜・樋口愛実(武蔵村山合気道会)、古本杏雫(飛鳥合気道)、池本楓乃・大川健介・佐藤寿美・根岸那帆(千住合気会)、佐野陽基・佐野玲子・渡邊紗希・渡邊晃生・秋葉貴斗・渡邊樹生(杉並合気会)、更屋遥洋・木尾優希・木下美月(世田谷区立緑丘中学校)

【神奈川県】岩崎伶哉(合気道自灯館道場)、杉野美月・篠崎羽里子(合気道唯心館杉野道場)、野村怜(合気道幸徳会)、湯浅稟々乎・湯浅凜太郎(合気道青葉塾道場)、菅ひとみ(合気道春水道場)、新山亜美(桜台合気道クラブ)、松岡朋尚(春陽会)、山口航太・山口拓真(合気道野比道場)、鈴木颯介(葉山町合気会)、荒木颯(南林間カルチャーセンター)、塚原碧一・飯島綾(横浜南合気会)、鳴海弥優(鶴岡八幡宮研修道場合気道科)、村井裕輔(城下町合気道(小田原道場))、中園爽太・中園真央(藤沢合気道倶楽部)、岡村脩平(無門館)、更科祐里・吉村真一(合気道漸進会)、甲野まりあ(合気道相模和道会)、西井菜海・高木翼・出口和佳奈(横浜国際合気道会)、伊藤心花・藤田浩気(綾瀬市・海老名市合気会)、濱口海・狩野隼之介・貞島未歩(寒川合気会)、小澤拓真・宮下朔弥(国立印刷局合気道部)、岩田康祐・瀬戸蒼音(秦野武産合気会)、田代佑羽(よみうりカルチャー横浜合気道教室)、内藤大智(富士フィルムテクノプロダクツ合気道部)

【新潟県】小池武瑠・木下輝紀(新潟合気会新潟みなと道場)、古川駿・古川蓮(合気道新潟県央会)

【長野県】内田花埜子・高田琥白(合気道武石道場)

【岐阜県】西野翼・竹中嵩(合気道岐阜一元会)

【静岡県】不破本悠仁・久保田聖斗・鈴木秋星・佐藤美羽・稲葉優名(長泉・富士宮合気会)、杉浦華穂(裾野合気会)、市川結李加・佐野繪音・高橋悠太・松井皓大・小町優生・石田怜那・松井喜音・市川綾香・佐野聖奈・石田壮(伊豆至誠会)、齋藤隆政・工藤綾夏・大石奈津(合気道石芯塾童夢の会)

【三重県】後藤瞳空・中西佑太(鈴鹿合気会倉武塾)

【京都府】住野壱知・西村はるか・河西涼馬・佐口幸太郎・内藤祐希(合気道入江道場)

【大阪府】中野春風・山根一真・赤松なごみ・石田響喜・鹿島佑斗・中川愛翔(合気道正勝会)、久間悠蒼・向井恒太郎・武森賢悟・上野美月・向井華・葛籠駿(合気道泉州武工会)

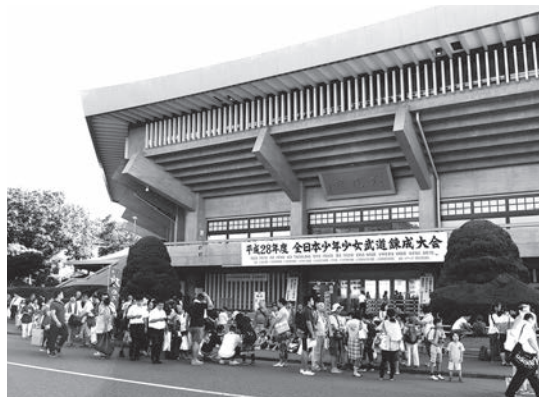
【奈良県】愛甲りり子・西村あかね・狩野真史・三谷倫・田野景獅・西田優花・渡邊留久・北里昂斗・山田英明・川原慈・寺口明希(合気道西大和会)

【和歌山県】奥野啓杜・奥野望伽・田中秀典(和歌山竹豊館道場)

【岡山県】増川くるみ・中村美優(倉敷天領塾)、若槻春花・奥野愛都・奥野楽都(倉敷市立西中学校合気道部)

【広島県】大林渚巨・沖田竜斗・佐々木悠気・影山りさ(合気道北平塾ひとみ幼稚園長束道場)

【香川県】平松世覇(合気道立志館)



合気道 ―＜努力賞＞―

【岩手県】小原駿・熊谷隼（合気道奥州道場）
【福島県】並木柊之祐・倉持奈央・大野敏輝・渡部信宇・久保木知歩（合気道須賀川道場）
【茨城県】鈴木乃々佳（つくば牛久合気道会）、山岡夕凜・岡田朋也・村田和（江戸崎合気会）、山下友輔（取手市合気道スポーツ少年団）、植田峻太郎（つくば合気道会）、浅野陽・橋本康佑・水見颯来・植木沙耶・佐藤夏由・水見彩愛・山口サラ（水戸市合気道スポーツ少年団）、永井慶吾・河本那由太・永井翔吾・鈴木海祐・伊藤志穂・石井怜衣（ひたちなか市合気道少年団）、神海翔・高橋陸駆・斎藤兆・住吉杏介・小磯翔太・中山評雅・鈴木恒星・鈴木康太・小磯光希（岩間合気道スポーツ少年団）、河田駿・能登一沙（東海合気道少年団）、黒澤光（ひたちなか合気会常陸大宮合気道少年団）、白土弘基（那珂湊合気道少年団）
【栃木県】Kalawe 空・小暮主馬・小暮美月（小山合気会）
【群馬県】板垣明香里・宮城玲奈（薫風館）
【埼玉県】藤谷かえで・飯塚祐太・酒向優至・木村海偉（合気道志優館）、宮崎彩歌・伊藤亜芽・長島義人（合気道浦和尾丈道場）、田村紗帆・田村羽衣（A & P 合気道石垣道場）、鈴木彩加（大成合気道会）、内田英作・岡田望和・岡田光人・岡本華凜（志陽館）、鈴木康平（蔵合気道会）、原島知也・鮫島巧充（合気道大宮道場）、松藤春樹・奥寺凜乃・植田治勝（浦和合気会）、高森悠誠（A & P 合気道大関道場）、曾我部由名（草加合気道研究会）、内野佑太・立花真央（合気道越谷道場）、成塚彩夏（蓮田合気会）、安藤翼（合気道川島町同好会）、荒井風龍（合気道川越道場）、金井楓未弥・金井萌久美（日高市合気道同好会）、篠崎仙太郎・末藤海斗・飯野結莉・白浜凜・石川柚希・田村遥大・根岸優我・文田敦・山本吏紗（合気道研心会）、佐藤将大・佐藤大武（狭山市合気道教室）、岩崎花奈・高崎恵理（合気道修練道場自然館）、赤木佳乃子・山口璃乃・大澤和真（合気道和光道場）、福海日花里・中村匠吾・尼子星弥（志本合気会）、細山田健人・和田律・斉藤友果・志村蓮・細山田愛花・澤向愛心・細山田遥花・木濟眞苗・横瀬遥菜（人間幸武館道場）、ペロフアナスタシア夏美（新所沢合気道同好会）、柳雄貴（白岡合気会）、野澤祐（本庄合気会）、堀内紗奈・岩松由樹菜・菅原仁美（東品川こども合気道）
【千葉県】香島光希・長田遼・大谷圭吾・田中紘太（千葉市立椿森中学校合気道部）、渡邊堅斗（千葉市都合気道スポーツ少年団）、宮園顕灯・山崎耀・渡辺大河（合気道花見川道場）、伊藤璃里香・栗原侑一郎・馬場南海翔・高田凜太郎・池田拓真（合気道弘龍會明心館道場）、西田純希・平沢直樹（千葉市武道館合気道スポーツ少年団）、河内優弥・門倉ななえ（流山合気道同好会）、山中玲生・山中輝生・齋藤雄斗（我孫子市合気道スポーツ少年団）、大伯悠生・竹村郁哉・森本光騎（柏合気会少年部）、平田えみ（船橋合気会）、佐藤響・酒巻賢辰・千葉康一・水谷明香里・小林千夏・横塚心優・佐藤叶惺（朋清会白井道場）、中尾遥太（合気道れんしん会）、鈴木綺（八千代市合気道連盟）、梅田恋羽・鈴木奏空・籠崎主祐・眞鍋史人・河野珠紀・筈尾晴太郎・岡田翔真・妹尾安希裕・小向瑛太・江幡優・河野晏珠・高橋昂佑・筈尾綸・小林歩乃佳・

土田朔也・妹尾安裕杜・林田詩桜・小向帝成・藤塚健志・鈴木彩才・妹尾安澄美（流山合気会）、渡辺秀虎・伊豆村大樹（銚子合気道会）、新美悠友・矢部芽生・伊藤天真・山田菜緒（合気道松心館）、大澤龍弘（北総合気会八街道場）、岩部海・堀越未来・伊藤葉大・伊藤浩大（袖ヶ浦合気会）、池田幸樹・市成可尚（合気道命炎塾）、横尾朱俐（合気道誠気会）、森崎遼大（高根台カルチャーセンタージュニア合気道）、菊地瑞穂（千葉市稲毛合気道スポーツ少年団）、色川雪乃・片山幸穂（じきしん合気道会）、川田琢磨（北総合気会山武道場）

【東京都】伊藤光佑（中央区合気会）、山田真悠子・堀晃大（合気道宇宙の会）、飯田智大・海野能窓・小柳津敦・高沖智（武蔵中学校合気道部）、飯田真唯・神谷優輝・松本拓巳・菅原かのん・杉田真羽・飯塚悠貴（荒川合気会）、永田光生・星野遙聖・里見悠輔（合気道順風会）、丸山飛鳥（合気道石田塾）、上野陸翔（足立合気会）、高橋柊聖・松川優太（葛飾合気会）、加藤宏基・石崎郁士（合気道土井道場）、竹元悠真・室伏隼太郎（城東誠和会）、星野恵嘉（鐘ヶ淵合気道クラブ）、長崎甲亮・高塚千尋・町山芳忠（新小岩合気会）、松浦きりか（合気道木下道場）、千葉瑞貴・上川由夏子・比嘉聖虎（合気道向日葵道場）、西島永騎（合気道進藤道場）、塚本容弘・荻須一樹・阿部立幹（東急セミナー BE 青葉台）、田中咲羅・横溝愛未（大森第三中学校合気道会）、門倉加奈（西馬込合気道会）、龍岡和岡本貴大（大田区合気道会）、小田スウ（渋谷区合気道同好会）、小野大歎・高山愛菜・宮内駿・宮内優・中込亮清・江島玄騎・水田早香・高山結菜・伊藤美琴（合気道れいめい会）、立川叶大・田中颯太郎・金谷允・石川想大・奥田響・元木優耀（祖師谷合気会）、椎名幸哉・島崎彩花・保科千晶（朋清会）、富田弘武マキシミアン（合気道自由が丘道場）、京相裕大・工藤清佳・山本有紗（中野区合気道会）、藤田大樹（朋清会）、松井太陽・秋山琴乃・上杉美結七・平林滯乃・中川真穂（板橋区合気道連盟）、藤枝胡桃（合気道心会）、角森葵一・山本和真・松元美樹・新関祝・平井李々菜・島新太郎・柴田大輝・高島遼成・島岡生有・深谷玄太・井ノ口輝宙・西村悠希・増井澄・濱野風（月窓寺道場）、竹下裕果・田中恭司・服部良之助・上野凌・井上勇輝・須藤蒼汰・海雲美風・布施千智・田村真俐メアリ・服部淳之介・榎戸柳・田辺明樹・松倉円香・大杉和瑞・國分評人・椎葉太郎・田口陸大・小川幸介・上原来人・保坂駿介・大杉律葉（合気道新川塾）、古村陽仁・谷拓海・前田翔音・宇井良（仲池合気道同好会）、白井朔弥・白石夏輝・土方英輔・武井真成・両角光央・園田真永・今野星空（多摩川合気道会）、高橋佑果・高橋那奈（調布合気道会）、澤木萌晴・小河まどか（花小金井合気道燦武館）、石川明香里・長谷川小遥（合気道「倫」）、赤堀温貴（合気道八王子合気会）、小林篤郎・京面慶也（穎明館中学高等学校合気道部）、秋間将汰・宮崎皇輝（立川市合気道会）、江澤明莉・武部一滉・河内杜和（東大和市合気道会）、佐々木玲音・石川有杜（合気道三澤塾）、馬頭徹貴（鷹の台合気道同友会）、大信克也・三好悠月（新宿スポーツセンター合気道教室）、松坂周・西村海（公益財団法人合気

弓 道

7月18日開催

男子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
大田原市立大田原中学校 B (栃木) 北犬飼中学校 A (栃木)	大平南中学校 C (栃木) 松戸市立第六中学校 B (千葉)	蒲郡中学校 A (愛知) 鹿北中学校 (熊本) 日光市立今市中学校 C (栃木) 大田原市立大田原中学校 A (栃木)	大田原市立大田原中学校 B (栃木) 大平南中学校 C (栃木)
努力賞	予選通過チーム (12 射 6 中以上) 13 チーム		

女子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
鹿児島市立郡山中学校 A (鹿児島) 日光市立今市中学校 A (栃木)	大田原市立大田原中学校 A (栃木) 北犬飼中学校 A (栃木)	宇都宮市立旭中学校弓道部 A (栃木) 大平中学校 C (栃木) 大田原市立大田原中学校 B (栃木) 大平中学校 B (栃木)	北犬飼中学校 A (栃木) 宇都宮市立旭中学校弓道部 A (栃木)
努力賞	予選通過チーム (12 射 6 中以上) 13 チーム		

剣 道

7月23日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第 1 ブロック	鬼高剣友会 (千葉県)	青木島剣道少年団 (長野県)	調布中央剣道会 (東京都)	青雲塾剣誠会 (茨城県)
第 2 ブロック	清野有成会剣道クラブ A (長野県)	貴志川剣道クラブ (和歌山県)	文化少年剣道倶楽部 A (東京都)	都筑茅ヶ崎剣友会 (神奈川県)
第 3 ブロック	柏武道館 A (千葉県)	山梨健心館 A (山梨県)	海津町武道館 (岐阜県)	国分寺剣友会 A (東京都)
第 4 ブロック	豊中小曽根剣友会 A (大阪府)	戸田市スポーツセンター剣道教室 A (埼玉県)	宝塚安倉剣友会 (兵庫県)	矢口剣志会 A (東京都)
第 5 ブロック	東松館道場 A (東京都)	神戸枝吉己勝館 (兵庫県)	公益財団法人 修武館 (兵庫県)	一宮尚武会 A (千葉県)
第 6 ブロック	三劔会 (大阪府)	武蔵館 A (埼玉県)	親園少年剣道教室 A (栃木県)	福住剣友会 (東京都)
第 7 ブロック	上の台剣友会 (千葉県)	まつお少年剣友会 (千葉県)	解脱錬心館 (埼玉県)	西小菅剣友会 (東京都)
第 8 ブロック	大津少年剣道クラブ (熊本県)	龍成館 (熊本県)	静心館 (埼玉県)	大和田剣友会 A (千葉県)

7月24日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第 1 ブロック	緑苑剣道少年団 A (岐阜県)	桶川剣友会 (埼玉県)	青島剣道スポーツ少年団 A (静岡県)	永山剣友会 (東京都)
第 2 ブロック	昇龍館一福道場 A (岡山県)	新化館 (石川県)	佐貫清心会 A (千葉県)	東陶器春風館 (大阪府)
第 3 ブロック	穴師剣道会 (大阪府)	かほく剣友会 (石川県)	雄信館内山道場 (秋田県)	小山田源流館 (大阪府)
第 4 ブロック	乙島剣道スポーツ少年団 (岡山県)	修徳館日比野道場 A (愛知県)	西尾市立矢田小学校 A (愛知県)	五葉館 (栃木県)
第 5 ブロック	宝塚剣道円心会 A (兵庫県)	能勢武勇館 (兵庫県)	東大和市剣道連盟 (東京都)	市原尚武館 (千葉県)
第 6 ブロック	新宮剣志館 (兵庫県)	結城尚武館 A (茨城県)	光龍館 (香川県)	春日部剣道会 (埼玉県)
第 7 ブロック	養徳館 (岡山県)	本妙寺剣道教室 (千葉県)	雄武南剣友会 A (千葉県)	竹の子剣道クラブ (大阪府)
第 8 ブロック	練兵館 (栃木県)	いばらき少年剣友会 A (茨城県)	和歌山野崎少年剣道クラブ (和歌山県)	かほく道場 (石川県)

空手道

7月30日開催

小学1・2年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 A (東京都) 全日本空手道一友会 B (東京都)	鴻志会養正館B (静岡県) 宮代空手スポーツ少年団 (埼玉県)
優良賞	川口空手アカデミー (埼玉県)
福源院道場 (山梨県) 鴻志会養正館 A (静岡県)	皆思道場B (東京都)
敢闘賞	空手道拳志会 (東京都)
全日本空手道 志空会 B (神奈川県) 日本空手道道場会川口マリン空手クラブB (埼玉県) 剛柔会相模館 (神奈川県) 昇政塾 (千葉県)	鴻志会養正館E (静岡県) 清原空手道スポーツクラブ (栃木県) 皆思道場 A (東京都)

小学3・4年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 B (東京都) 全日本空手道一友会 A (東京都)	川口空手アカデミー (埼玉県) 空手道拳志会 A (東京都) 剛柔会相模館 (神奈川県) 憲武館八尾 (大阪府) 剛柔会正剛道場 A (静岡県) 全日本空手道連盟剛柔会 誠明館B (神奈川県) 鴻志会養正館 E (静岡県) 勝正館 八街 (千葉県)
優良賞	
養真館 A (神奈川県) NPO 日本教育空手協会 (宮城県)	
敢闘賞	
鴻志会養正館 A (静岡県) 佐世保尚武館 (長崎県) 全日本空手道連盟剛柔会 誠明館E (神奈川県) 福源院道場 (山梨県)	

小学5・6年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 A (東京都) 正武館空手道場 A (東京都)	カラテアカデミー (群馬県) 糸東会大泉支部日新館 (東京都) 結城誠和塾 B (茨城県) 日本空手道黎明会大和支部 (神奈川県) 昭空会 B (東京都) 結城誠和塾 A (茨城県) 正武館空手道場 B (東京都) 鴻志会養正館 A (静岡県)
優良賞	
福源院道場 (山梨県) 拳勝館六会支部 (神奈川県)	
敢闘賞	
空手道正真館 A (静岡県) 川口空手アカデミー A (埼玉県) 剛柔会相模館 A (神奈川県) 空手道拳志会 (東京都)	

中学生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 B (東京都) 全日本空手道一友会 A (東京都)	川口空手アカデミー B (埼玉県) 日本空手道黎明会大和支部 (神奈川県) 正武館空手道場 E (東京都) 日本空手道道場会川口マリン空手クラブB (埼玉県) カラテアカデミー A (群馬県) 謙交塾大和田道場 A (東京都) 正武館空手道場 C (東京都) 全日本空手道 志空会 (神奈川県)
優良賞	
日本空手道道場会川口マリン空手クラブ A (埼玉県) 泊親会錬心館 (東京都)	
敢闘賞	
正武館空手道場 A (東京都) 日本空手道 拳勝館 A (神奈川県) 鴻志会養正館 (静岡県) 拳勝館六会支部 (神奈川県)	

柔道

7月31日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞
第1ブロック (高学年)	羽田野道場 (愛知県)	西部柔道クラブ (和歌山県)	弘道館新井道場 (埼玉県) 稲沢柔道会 (愛知県)
第2ブロック (高学年)	朝飛道場 (神奈川県)	明心館 関本道場 (千葉県)	あきる野柔道クラブ (東京都) 豆蔵柔道クラブ (東京都)
第3ブロック (高学年)	古賀塾 (神奈川県)	田島道場 (群馬県)	我孫子警察署少年柔道クラブ (千葉県) 羽島柔道少年団 (岐阜県)
第4ブロック (高学年)	松前柔道塾 (東京都)	小川道場 (茅ヶ崎) (神奈川県)	寒川柔友会 (神奈川県) 内郷柔道塾スポーツ少年団 (福島県)
第5ブロック (低学年)	小倉東少年柔道クラブ (福岡県)	田島道場 (群馬県)	松前柔道塾 (東京都) 檀原市柔道クラブ (奈良県)
第6ブロック (低学年)	小川道場 (茅ヶ崎) (神奈川県)	嶺心会 (神奈川県)	朝飛道場 (神奈川県) 西新井警察署少年柔道部 (東京都)
第7ブロック (低学年)	古賀塾 (神奈川県)	広畑柔道教室 (兵庫県)	旭日柔道場 (長野県) 加古川柔祐会 (兵庫県)
第8ブロック (低学年)	社柔道少年団 (兵庫県)	五十嵐道場 (埼玉県)	愛柔会 (神奈川県) 岬町柔道スポーツ少年団 (大阪府)

銃剣道

8月3日開催

団体試合録成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学5・6年生	元気道場B（新潟）	元気道場A（新潟）	七ヶ浜銃剣道スポーツ少年団（宮城）	滋賀県選抜（滋賀）
中学生	滋賀今津銃剣道スポーツ少年団（滋賀）	伊勢原支部（神奈川）	春光スポーツ少年団（北海道）	尽誠銃剣道ジュニアクラブ（香川）

銃剣道個人試合録成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1・2年生	金子詠音（元気道場）	宮田淳生（千歳少年銃剣道クラブ）	長岡希空（元気道場）	山崎陽介（小林道場）
小学3年生	中山結愛（滋賀今津銃剣道少年団）	南條愛歩（勝北銃剣道クラブ）	岩館柚乃（紫波銃剣道クラブ）	山田悠豊（滝川少年銃剣道）
小学4年生	田中優羽（九徳塾）	柴田拓海（九徳塾）	猪狩智晴（七ヶ浜銃剣道少年団）	鈴木博斗（松戸練成館）
小学5年生	谷誓哉（名寄ビヤシリ銃剣道少年団）	中田秀也（春光スポーツ少年団）	井上大志（滋賀今津銃剣道少年団）	大野力矢（美幌銃剣道少年団）
小学6年生	佐久間蒼太（名寄ビヤシリ銃剣道少年団）	渡辺星雅（七ヶ浜銃剣道少年団）	瀬川忠義（紫波銃剣道クラブ）	猪狩彰真（七ヶ浜銃剣道少年団）
小学5・6年生 女子	滝沢琉夏（元気道場）	平松望奈（本間道場）	松本奈衣瑠（滋賀今津銃剣道少年団）	近藤桃子（元気道場）
中学1・2年生	南條光希（勝北銃剣道クラブ）	北出渥弥（滋賀今津銃剣道少年団）	勝又将（滝ヶ原銃剣道子供教室）	河崎奏努（尽誠銃剣道ジュニアクラブ）
中学3年生	今勇仁（滝川少年銃剣道）	河崎要甫（尽誠銃剣道ジュニアクラブ）	今井雅巳（名倉銃剣道クラブ）	入澤瑠星（勝北銃剣道クラブ）
中学生女子	石岡悠来（春光スポーツ少年団）	松本亜衣奈（滋賀今津銃剣道少年団）	寒河江瑞希（名寄ビヤシリ銃剣道少年団）	澤田百花（伊勢原支部 伊勢原道場）

短剣道個人試合録成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1・2年生	岩渕将也（旭川銃剣道連盟）	古川姫野（春光スポーツ少年団）	橋本美羽（船橋武道クラブ）	大石桂花（掛川銃剣道連盟）
小学3・4年生	岩館柚乃（紫波銃剣道クラブ）	山崎美和（小林道場）	白木優敬（掛川銃剣道連盟）	栗原瑠衣（瑞穂総合クラブ）
小学5・6年生	渡辺星雅（七ヶ浜銃剣道少年団）	瀬川忠義（紫波銃剣道クラブ）	澤田花穂（伊勢原支部 伊勢原道場）	佐久間蒼太（名寄ビヤシリ銃剣道少年団）
中学生	澤田菜々花（伊勢原支部 伊勢原道場）	長久保海斗（博真館）	岩館康太（紫波銃剣道クラブ）	須田魁輝（秋田県銃剣道連盟）



なぎなた

8月7日開催

演技競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1・2年	菅野未桜・渡邊香都 (瑞穂なぎなたスポーツ少年団)	掛水悠璃楓・根本栞里 (中野区なぎなた連盟)	堀田 希・大木千代 (弥富市なぎなたクラブ)	渥美尊仁・高橋 杏 (浜松中央なぎなたクラブ)
小学3・4年A	内田彩華・縄倉茉依 (大田区なぎなた連盟)	清原翠莉・山田梨乃 (三重武道館クラブ)	片岡 萌・齋藤一加 (江東区なぎなた連盟)	船寄紗生・佐々木映舞 (奈良市なぎなた連盟)
小学3・4年B	綿野紫月・榊井千尋 (奈良市なぎなた連盟)	藤井穂乃花・高田愛稀 (公益財団法人修武館)	田中未優・塚田紗也 (身延なぎなたスポーツ少年団)	奥住遥風・齋藤侃駿 (会津なぎなた連盟)
小学5・6年A	長嶋春優・梅津瞳子 (瑞穂なぎなたスポーツ少年団)	瀬長拓夢・金城 優 (西原なぎなたクラブ)	服部帆南・仲原壮汰 (弥富市なぎなたクラブ)	錦織葵結・橋垣苺佳 (斐川スポーツ少年団)
小学5・6年B	阿比留月乃・坂上祐輝 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	笹田華歩・川島彩葵 (愛知武道館クラブ)	窪田彩佑・大森 葵 (武陵館中嶋道場館)	江川実都・山田千愛 (幕張なぎなたスポーツ少年団)
小学5・6年C	田口菜奈子・堺 歩梨 (大和郡山市なぎなた連盟)	中嶋和奏・石塚千晶 (奈良市なぎなた連盟)	奥田真央・犬伏未奈 (川西スポーツクラブ)	寺本春葉・古川千翔 (鳥根県なぎなた連盟)
中学A	近藤夏奈・相馬華江 (会津なぎなたスポーツ少年団)	辻恵里那・山村 碧 (清教学園中学校)	下川歩美・三好藍衣 (満濃中学校)	石井大登・寒川慎也 (和歌山市雄湊なぎなたクラブ)
中学B	齋藤啓佑・小島玲南 (会津なぎなたスポーツ少年団)	牧野莉奈・吉村野依 (鯖江市立中央中学校)	福岡彩純・間瀬ひなこ (清教学園中学校)	板倉静音・久野寧々 (弥富市なぎなた連盟)
中学C	坂上晴紀・浪江紗希 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	藤田茉欧・片山朋香 (鯖江市立中央中学校)	栗城奈実・伊藤愛子 (会津なぎなたスポーツ少年団)	本間絢子・奥 可鈴 (鎌倉女子大学中等部)
中学D	高島都加・野沢桜子 (鯖江市立中央中学校)	菊地詩織・木村充穂子 (会津なぎなたスポーツ少年団)	松本理恵子・阿部珠佳 (会津なぎなたスポーツ少年団)	下川紗奈・服部千夏 (福井なぎなたクラブ)
中学E	古川晴奈・渡部春葉 (会津なぎなたスポーツ少年団)	佐坂南空・市川莉那 (弥富市なぎなた連盟)	星野柚菜・山近萌恵乃 (神奈川大学附属中学校)	佐々木華歩・佐々木詩織 (岩出山中学校なぎなた部)
中学F	星 南充・藤沼千裕 (会津なぎなたスポーツ少年団)	磯永美咲・松本遥菜 (神奈川大学附属中学校)	金谷咲希・高橋 萌 (都立富士高等学校附属中学校)	上村友梨佳・山火萌乃佳 (一戸町立一戸中学校)
中学G	押川千優・相原桃果 (文化学園大学杉並中学校なぎなた部)	牧野 叶・中嶋澄花 (福井なぎなたクラブ)	野々村拓哉・上吉川新 (弥富市なぎなた連盟)	秋谷菜摘・猿山綾花 (神奈川大学附属中学校)
中学H	村山花音・青木 雅 (山形市立第三中学校)	櫻庭 彩・長嶋姫那 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	飯田美幸・宮本麻帆 (公益財団法人修武館)	天野奈津子・関口史果 (八王子市なぎなたスポーツ少年団)

試合競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学3年	関 笙乃 (豊島区なぎなた連盟)	大森 楓 (武陵館中嶋道場)	片岡 萌 (江東区なぎなた連盟)	佐渡ひより (幕張なぎなたスポーツ少年団)
小学4年	川瀬皐月 (京都なぎなたクラブ)	高田愛稀 (公益財団法人修武館)	錦織葵結 (斐川スポーツ少年団)	寺本春葉 (鳥根県なぎなた連盟)
小学5年	犬伏未奈 (川西スポーツクラブ)	寺田涼香 (奈良市なぎなた連盟)	島崎結加 (福井なぎなたクラブ)	南原小夜乃 (和歌山市雄湊なぎなたクラブ)
小学6年	中村日南 (三重武道館クラブ)	古川千翔 (鳥根県なぎなた連盟)	大崎真優 (江戸川区なぎなた連盟)	浦久保咲希 (奈良市なぎなた連盟)
中学1年	宮本麻帆 (公益財団法人修武館)	治郎丸麻也子 (養徳館)	岡本 栞 (江東区なぎなた連盟)	佐々木汐祥 (琴平中学校)
中学2年	窪田妃那 (武陵館中嶋道場)	安藤鈴華 (養徳館)	鈴木柚香 (八王子市なぎなたスポーツ少年団)	下川紗奈 (福井なぎなたクラブ)
中学3年	青井千莉 (養徳館)	中嶋澄花 (福井なぎなたクラブ)	川村 碧 (山形市立第七クラブ)	須田優花 (八王子市なぎなたスポーツ少年団)
小学男子3・4年	森永 響 (養徳館)	中村嘉希 (習志野市なぎなた連盟東部教室)	梅山快音 (小山教室)	瀬長拓夢 (西原なぎなたクラブ)
小学男子5・6年	南館日奈太 (一戸町なぎなた協会)	坂上祐輝 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	高山清玄 (中野区なぎなた連盟)	大石壮紀 (豊岡なぎなたスポーツ少年団)
中学男子	齋藤啓佑 (会津なぎなたスポーツ少年団)	寒川慎也 (和歌山市雄湊なぎなたクラブ)	上吉川新 (弥富市なぎなた連盟)	上村武玄 (久茂地なぎなたクラブ)

◆中学生段外の部

若松春奈・松山洗瑛（福島県・福島双葉道院拳友会）方波見千里・江戸野来未・秋葉萌・岩瀬陽豊・齋藤玲・吉原早恵（茨城県・清真学園）高橋秀吉・片桐優太・依田宇弘・岩崎遥人（群馬県・前橋橋道院拳友会）岩田侑次郎・前原隼人（東京都・東京錦糸道院拳友会）岡田孝太・岡田翔平（東京都・板橋菩提樹道院拳友会）筒井大翔・和田輝・田坂莉子・土屋美菜・中島玲佳・粕谷翠波・北隅空・遠藤直、川上桜子・山下愛（東京都・早稲田実業）松本麻奈・矢子恵深・住野夢子・川島かなれ（東京都・富士見丘学園）新倉瞳子・長沼乃愛・石澤諒馬・明賀聖・大久保瑠菜・古川茜・釘元愛優・森田桜菜・石川直生・磯西翼（東京都・町田市立小山中学校）中馬彩香・古海佳蓮（東京都・加住小中学校）木部遥・小川敦子ウンバ・野澤真優・吉野真優香・吉田シャーニ・大野理紗・藤森壮祐・長谷川遥歩・二木萌々子・齋藤真理亜（東京都・立川第七中学校）日野湧太・荻野愛子（神奈川県・神奈川大和道院拳友会）須藤悠太・柴田唯衣（神奈川県・海老名東道院拳友会）野崎琴乃・野崎祐生（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）

◆小学生有段の部

森翔多朗・渡邊和瑞（福島県・白河東スポーツ少年団）小田切紗羅・内山翔太（群馬県・群馬北毛道院拳友会）萩原小紀菜・城田悠基（群馬県・前橋中部道院拳友会）稲吉恵真・宮島遥斗（埼玉県・埼玉神屋道院拳友会）石田俊裕・政田啓希（愛知県・名古屋植田道院拳友会）吉水友佑・廣瀬凱（愛知県・名古屋太子道院拳友会）植村夏希・園木美紅・杉本祥哉・桐石偉生（大阪府・富田林北道院拳友会）古谷乙貴・迫園悠真（大阪府・大阪三市道院拳友会）鈴木明正・中村創太（和歌山県・南紀熊野スポーツ少年団）小西杏奈・畑野結月（和歌山県・南部スポーツ少年団）

《単独基本演武》

◆小学生3級～1級の部

洞口陸斗（北海道・旭川南道院拳友会）門馬由宗（宮城県・青葉道院拳友会）鈴木蒼菜（福島県・白河道院拳友会）山田一翔（茨城県・茨城つくば道院拳友会）島田瑞穂（群馬県・群馬北毛道院拳友会）平岡琉果（埼玉県・埼玉北鴻巣道院拳友会）鈴木靖乃（埼玉県・入間藤沢道院拳友会）半田幹（埼玉県・朝霞道院拳友会）小島佑也（埼玉県・埼玉北鴻巣道院拳友会）窪田草太（埼玉県・埼玉川鶴道院拳友会）新井一矢（埼玉県・埼玉三ヶ島道院拳友会）岡村紅音（千葉県・習志野台スポーツ少年団）鈴木出海（千葉県・千葉清見台道院拳友会）稲毛風斗（東京都・久米川道院拳友会）大木風我（東京都・東京東陽町道院拳友会）松田佳子（東京都・東京月島道院拳友会）濱田嘉人（東京都・町田南道院拳友会）小倉宏志（福井県・福井新田塚道院拳友会）桑島直暖（長野県・松本美ヶ原スポーツ少年団）田中綾音（愛知県・愛知米野木道院拳友会）中村湧・武部鑑（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）加地友陽（京都府・京都乙訓道院拳友会）上野拓海（和歌山県・南部スポーツ少年団）畑下一喜（和歌山県・南紀熊野スポーツ少年団）吉本誠一朗（徳島県・大麻スポーツ少年団）藤田拓也（徳島県・徳島北島スポーツ少年団）宮本恭範（香川県・タドツスポーツ少年団）井上太彦（福岡県・博多道院拳友会）

◆小学生4級の部

飯田堅斗（福島県・白河東スポーツ少年団）島杏菜（茨城県・鹿島港南スポーツ少年団）小川隼（埼玉県・埼玉久喜道院拳友会）岡村昌信（千葉県・習志野台スポーツ少年団）山崎聡大・岡田蒼樹・落合颯元（千葉県・千葉清見台道院拳友会）大鬼桃太郎・千葉大翔（東京都・東京月島道院拳友会）飯沼洗斗（東京都・東京東陽町道院拳友会）桑島直優（長野県・松本美ヶ原スポーツ少年団）小山貴士（静岡県・富士西道院拳友会）富山銀司（大阪府・高石スポーツ少年団）片岡大輝（和歌山県・南部スポーツ少年団）藤井颯人（徳島県・徳島北島スポーツ少年団）

◆小学生6級～5級の部

杉下玄（北海道・札幌月寒東スポーツ少年団）村上百花（宮城県・仙台西道院拳友会）高柳快唯（福島県・福島双葉道院拳友会）小沼陸斗（茨城県・水戸スポーツ少年団）川端一徹（茨城県・波崎スポーツ少年団）須貝悠矢（群馬県・群馬北毛道院拳友会）平形樹弥弥（群馬県・上州白根道院拳友会）木幡泉希（埼玉県・新座金剛道院拳友会）井出煌力・吉野孝規（埼玉県・川口道院拳友会）秋元心菜（埼玉県・武蔵浦和道院拳友会）長岡育夢（千葉県・市原道院拳友会）野口拓海（千葉県・千葉市海浜スポーツ少年団）大下藍（東京都・成増北道院拳友会）任瞳（東京都・加住小中学校）茅原希介（東京都・東京石神井道院拳友会）富田真優奈（東京都・南中野道院拳友会）原島悠豪・藤原祥真（東京都・東京東陽町道院拳友会）米田友翔（神奈川県・相模原上溝スポーツ少年団）大橋蒼大（新潟県・栃尾スポーツ少年団）腰原直志・菅沢拓海（長野県・松本美ヶ原スポーツ少年団）和田ゆりあ（愛知県・愛岐鉾成館道院拳友会）竹本隼人（愛知県・名古屋宝南道院拳友会）大出水建史朗（大阪府・高石スポーツ少年団）清水彩花（香川県・宇多津スポーツ少年団）

◆小学生見習い～7級の部

宇佐美豪琉・千葉紗也（宮城県・青葉道院拳友会）高木瑛飛（福島県・福島鮫川道院拳友会）山本遥音・秋山浩汰・黒田もも香（茨城県・波崎スポーツ少年団）荒井二葉（茨城県・茨城神栖スポーツ少年団）田尾英誠・吉成恭斐（茨城県・ひたちなか市松戸スポーツ少年団）吉江健（茨城県・水海道スポーツ少年団）富澤聖生（群馬県・上州白根道院拳友会）関根美音（埼玉県・埼玉人間道院拳友会）畠山連太郎（埼玉県・朝霞道院拳友会）則安香伶（埼玉県・武蔵国分寺支部）若山蓮斗（埼玉県・埼玉久喜道院拳友会）細田真葵・田中柊吾（埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団）小菅耕太（千葉県・流山北道院拳友会）清水琉生（千葉県・船橋宮本道院拳友会）中山煜晟（東京都・久米川道院拳友会）小泉泰輝（東京都・多摩桜ヶ丘道院拳友会）上笹貴雄介・荒井天斗虎（東京都・東京武術館道院拳友会）三木海里（東京都・東京足立東和道院拳友会）中池哲志・蟹江玲応（東京都・東京東陽町道院拳友会）村上裕汰・村上弘樹（東京都・東京平井道院拳友会）内田桂聖（東京都・東京野方道院拳友会）尾沢勘司（東京都・豊島道院拳友会）グティエレス鷹（神奈川県・相模林間道院拳友会）坂本健瑠（神奈川県・横浜緑園道院拳友会）大橋優翔・佐藤凜之輔（新潟県・栃尾スポーツ少年団）野村玲汰・佐藤天雅（山梨県・郡内富士スポーツ少年団）川原悠真（岐阜県・多治見青龍道院拳友会）佐藤竜信・藤村誠士・鬼頭快空（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）新郷日奈子・吉水ありさ（愛知県・名古屋太子道院拳友会）政田脩佑（愛知県・名古屋植田道院拳友会）瀬川正太郎・瀬川祐里奈（愛知県・岡崎こだるま道院拳友会）坂本有優・堀口虎之介（和歌山県・南部スポーツ少年団）尾藤すがの（和歌山県・和歌山西庄スポーツ少年団）

《団体の部》

◆中学生の部

秋葉萌・伏見美春・大竹凜・今泉沙彩・方波見千里・江戸野来未（茨城県・清真学園）岩崎遥人・依田宇弘・秋庭潤一・佐藤萌子・高橋秀吉・片桐優太（群馬県・前橋橋道院拳友会）中馬彩香・永作日菜・野村天音・佐野幸・上原いずみ・谷津麟・千葉彩加・川辺愛菜（東京都・加住小中学校）高橋羽流生・辻川祐太郎・森本光瑠・若城大輝・勢子俊真・宮下紅音・福井晴士郎・山本雅貴（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）

◆小学生の部

鈴木勇姫・加藤はる菜・鈴木花楚・松井深雪・鈴木小萩・伊藤光希（福島県・郡山みほとスポーツ少年団）池田遼斗・遠藤洸太・鳥啓祐・浅野純光・宮嶋晴・菊地菜弥・遠藤悠真・島正晴（茨城県・鹿島港南スポーツ少年団）岩田悠之介・清水亮佑・山宮悠暉・大角忠靖・岩田朋太郎・秋庭圭吾・依田宙久・青木佳南（群馬県・前橋橋道院拳友会）藤井葉衣樹・石岡愛将・角田大知・島田祥太郎・小田切紗羅・内山翔太（群馬県・群馬北毛道院拳友会）大川優羽・佐瀬朱例・大川優衣・古川由里奈・角田正人・角田諒（千葉県・千葉海匠道院拳友会）佐光仁仁・高橋蒼太・竹田昂太・野口心乃・渡部瑛斗・小林大翔（千葉県・我孫子道院拳友会）橋本盛太郎・小澤海風・橋本穂菜美・長野寛大・小侯悠一朗・田代竜輝（東京都・八王子西道院拳友会）稲葉行志・村瀬瑠花・引地花・関根望日・大瀧賢祥・大瀧賢心・八島瑚子・田中康太（神奈川県・相模原新宿スポーツ少年団）市古光音・三原碧音・加藤大雅・古田詩真・古田真菜・安田丈二・三原瑞久・伊藤愛莉・杉山輝明・伊藤煌生・加藤彩邑・古川遥己・近藤亮斗・上馬場慎也・田澤樹・林大耀（愛知県・豊明東道院拳友会）武部鑑・田澤昌玖・中村湧・勢子杏樹・岡田瞭・津岡京（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）泰地俊佑・泰地彩夫・坂本龍成・民野裕大・大江里佳・尾原玲菜・畑垣紫・大野晃太郎・小西杏奈・畑野結月・山下大和・中川翔友・大川菜々未・庄司悠真（和歌山県・南部スポーツ少年団）世戸鈴菜・高橋秋斗・三田耀介・倉本昂・篠原悠希・白井翔大（香川県・琴弾スポーツ少年団）

少林寺拳法 ―＜優秀賞＞― 8月6日開催

《規定組演武》

◆小学生1級

青柳匡臣・高柴和平（福島県・須賀川スポーツ少年団）齋藤楓・小沼佳生（福島県・白河東スポーツ少年団）井上珠澄・金田泰明（群馬県・群馬富岡道院拳友会）亀井陽生・久保輝果（群馬県・群馬北毛道院）宮嶋晴・島正晴（茨城県・鹿島港南スポーツ少年団）田中葉菜・高橋広一郎（茨城県・水戸スポーツ少年団）廣瀬泰汰・井井優奈（千葉県・千葉富来道院拳友会）東海林萌香・清田悠生（東京都・大田大森スポーツ少年団）金子海舞・岡部志音・濱口瞭・小宮諒将（東京都・八王子陵北スポーツ少年団）森井将純・島海優輝（神奈川県・小田原道院拳友会）豊嶋魁星・平原慈慧（神奈川県・川崎東道院拳友会）山下大和・中川翔友（和歌山県・南部スポーツ少年団）万代菜摘・岸本華奈（岡山県・瀬戸町スポーツ少年団）瓜生あかり・前尾咲良（長崎県・長崎波佐見道院拳友会）

◆小学生2級

込山恵太郎・石橋諒人（福島県・須賀川スポーツ少年団）島啓祐・浅野純光（茨城県・鹿島港南スポーツ少年団）島田祥太郎・藤井葉衣樹・石岡愛将・角田大知（群馬県・群馬北毛道院）青木佳南・依田宙久（群馬県・前橋橋道院）山田樹里・高野桜花（埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団）小島拓也・松浦直輝（千葉県・我孫子道院拳友会）吉野葵・大澤亜遊（千葉県・千葉清見台道院）里見銀之丞・増田和真（東京都・東京武術館道院拳友会）小保田佳佑・南緑仁（神奈川県・川崎柿生道院拳友会）加藤遼・内間醇一（岐阜県・各務原中央スポーツ少年団）岡田瞭・田澤昌玖（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）高牟礼淳也・徳永将都（奈良県・奈良中央道院拳友会）倉田和佳・小山純佑（香川県・栗井スポーツ少年団）

◆小学生3級

瀧浪優広・高橋光貴（福島県・白河東スポーツ少年団）伊藤光希・鈴木小萩・鈴木勇姫・加藤はる菜（福島県・郡山みほとスポーツ少年団）飯塚葵・飯塚日向（群馬県・群馬富岡道院拳友会）坂本眺基・篠崎テツヤ（群馬県・渡良瀬道院拳友会）大角忠靖・岩田朋太郎・清水亮佑・山宮悠輝（群馬県・前橋橋道院拳友会）村越風善・森園寛哉（埼玉県・埼玉神屋道院拳友会）田辺巧・笠原颯泰（埼玉県・東松山スポーツ少年団）三尾康介・本多陸・林真歩・清水杏虹（埼玉県・朝霞道院拳友会）伊藤綾音・臼井絵梨奈（千葉県・市原市津スポーツ少年団）角田正人・角田諒（千葉県・我孫子道院拳友会）中村政仁・中村悠樹（千葉県・浦安スポーツ少年団）岡田もえな・小林渚紗（千葉県・千葉清見台道院拳友会）杉原陸・森實良咲（千葉県・市原千種スポーツ少年団）加藤かれん・大竹優青（東京都・東京辰巳道院拳友会）佐藤志郎・内田圭祐（神奈川県・下溝スポーツ少年団）大室蓮・村上太一（神奈川県・川崎柿生道院拳友会）重田颯汰・莊司幸星（神奈川県・足柄中井道院拳友会）城所丈・樋口龍健（神奈川県・伊勢原道院拳友会）諸橋寧々・花畑星那（神奈川県・横浜清水ヶ丘道院拳友会）石合祈羅・立花日菜実（神奈川県・海老名道院拳友会）奥原友輝・野中煌大（神奈川県・秦野道院拳友会）齋藤巧弥・船橋一矢（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）川合琉也・西塚百花（愛知県・名古屋太子道院拳友会）服部瑠起・八田眞桜・渡辺秋斗・服部瑠璃（愛知県・名古屋太子道院拳友会）大川菜々木・庄司悠眞（和歌山県・南部スポーツ少年団）

◆小学生4級

樋口誠一郎・千葉真純・穴戸千夏・小原和夏（宮城県・青葉道院拳友会）高橋信乃・三浦輝（宮城県・多賀城城南道院拳友会）岡田武士・倉田有奎（埼玉県・熊谷道院拳友会）松本侑磨・吉野拳（埼玉県・志木スポーツ少年団）大澤駿・山崎大悟（埼玉県・埼玉鶴瀬道院拳友会）若杉拓実・若杉泰地（埼玉県・武蔵浦和道院拳友会）佐々木美羽・川崎健（千葉県・千葉袖ヶ浦道院拳友会）小菅陽太・飯島連（千葉県・川崎柿生道院拳友会）佐光臣仁・高橋蒼太郎（千葉県・我孫子道院拳友会）小澤海風・橋本盛太郎・橋本徳菜美・長野寛大（東京都・八王子西道院拳友会）今津龍斗・今津未来（神奈川県・横須賀衣笠道院拳友会）山口藍奈・名取彩（神奈川県・小田原道院拳友会）田丸京・横野向日葵（山梨県・郡内富士スポーツ少年団）齋藤旭・藤村洗希（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）杉浦苺武・牧村湧月（愛知県・名古屋太子道院拳友会）新田悠輔・鹿島田優真・鈴木湊・鈴木駿太郎（愛知県・名古屋植田道院拳友会）坂本結彩・堀口叶愛・中内洋希・小川正悟（和歌山県・南部スポーツ少年団）

◆小学生5級

高山日奈太・川淵孝典・小野悠河・遠藤未来呼（宮城県・青葉道院拳友会）齋藤滉大・三浦翔輝（福島県・須賀川スポーツ少年団）薬谷穂大・若松瑛汰（福島県・福島双葉道院拳友会）檜山湧慶・沼尻宗大（茨城県・ひたちなか市湊スポーツ少年団）小林翔太・内山徳乃佳（群馬県・群馬北毛道院拳友会）岩田悠之介・斎藤亮澄（群馬県・前橋橋道院拳友会）小林大晟・太田柚乃（埼玉県・東松山スポーツ少年団）進藤龍一・清水美佑（埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団）小澤康之介・岡本慎太郎（埼玉県・朝霞道院拳友会）佐伯晃太郎・新名修（千葉県・浦安道院拳友会）片山寛仁・中川佑輝（千葉県・西船橋道院拳友会）草間陸・草間海（千葉県・野田川道院拳友会）佐久間空・別所彩希（千葉県・千葉松戸道院拳友会）中澤寿々花・中澤樹生（東京都・八王子松枝道院拳友会）石川皓大・大橋光（東京都・東京大崎道院拳友会）佐々木陽風・渡辺流唯（東京都・加住小中学校）川崎創太・矢口翔太（東京都・東京田無道院拳友会）矢吹劉大・中平力輝（東京都・練馬道院拳友会）柿崎亜門・竹久保晴也（神奈川県・足柄中井道院拳友会）今井聖人・平塚翔・古賀陽輝・湯川寧（神奈川県・小田原道院拳友会）菅谷侃汰・近藤瞭朗（神奈川県・相模林間道院拳友会）室井良太・大川綾斗（和歌山県・南部スポーツ少年団）

◆小学生6級

戸塚大耀・山内悠亮・山内隆豪・山内優奈（宮城県・青葉道院拳友会）佐々木瑞汰・瀧澤駿哉・古閑瑠珂・高橋琳々（秋田県・秋田湯沢スポーツ少年団）太田爽樹・渡邊和嘉（福島県・白河東スポーツ少年団）石川惺己・藤村琴音（群馬県・群馬多々良道院拳友会）齋藤匠・石井そら（埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団）安藤琥斗輝・安藤璃衣那（千葉県・千葉袖ヶ浦道院拳友会）井達優吾・河原壮汰（千葉県・流山北道院拳友会）宮崎大翔・宮崎龍大（千葉県・西船橋道院拳友会）川村允悠・川村鷹之将（東京都・東京辰巳道院拳友会）鳥越希羽・池田来々南（東京都・八王子陵北スポーツ少年団）林杏・吉田創達（神奈川県・川崎柿生道院拳友会）久保りんか・莊司星華（神奈川県・足柄中井道院拳友会）二見沙彩・吉田小紘（神奈川県・神奈川大和道院拳友会）大橋燈和・篠田大輝・阿斐琉希也・藤本陽（愛知県・一宮中部道院拳友会）

◆小学生見習い〜7級

桃井陽正・関口陽介（茨城県・茨城三和スポーツ少年団）山田瑞季・海老根広造（茨城県・水戸スポーツ少年団）大津光輝・松澤弘翔（埼玉県・草加道院拳友会）秋谷美紀・後藤幸音（埼玉県・埼玉川島道院拳友会）大野木健晋・嶋村皇大（埼玉県・志木スポーツ少年団）藤波篤真・鈴木聖悟（埼玉県・埼玉神屋道院拳友会）津根佑哉・時谷拓夢（千葉県・市原南スポーツ少年団）渡部瑛斗・小林大翔・松浦篤志・佐光優奈（千葉県・我孫子道院拳友会）池田航太・中川颯悟（千葉県・西船橋道院拳友会）牛山響・小泉楓（東京都・多摩桜ヶ丘道院拳友会）上甲太一・牛久保莉花（東京都・八王子松枝道院拳友会）石川雄大・石川翔大（東京都・東京大崎道院拳友会）白石結都・三ツ木悠佳（東京都・東京足立東和道院拳友会）柳本壮亮・沼内結宇（神奈川県・海老名国分道院拳友会）牧大翔・アタルカベルカ（神奈川県・下溝スポーツ少年団）二見昂・井上慧豪（神奈川県・神奈川大和道院拳友会）清水康太郎・河野道心（愛知県・一宮中部道院拳友会）牧村一生・川合美緒・平山航也・八田咲咲（愛知県・名古屋太子道院拳友会）堀井なおこ・南部亜佑・加藤仁清・葛西泰馳（愛知県・名古屋植田道院拳友会）

《自由組演武》

◆中学生有段7部

櫻井さくら・櫻井かえで（栃木県・栃木瑞徳道院拳友会）佐藤萌子・山田妃芽奈（群馬県・前橋橋道院拳友会）鈴木拳太郎・出牛悠紀（埼玉県・人間瀬沢道院拳友会）小林龍馬・小林風馬（埼玉県・埼玉平方道院拳友会）後藤ヒカリ・石井もも（千葉県・市原南スポーツ少年団）高橋千聖・西ノ村孔南（東京都・東京武術館道院拳友会）谷津麟・佐野孝（東京都・加住小中学校）木口桃華・今枝真愛・増山朋華・柳原史佳・武井理沙・三森菜々香・西村彩・新井智咲・伊藤華梨・中村美来（東京都・早稲田実業）佐藤潤晨・城所迅（神奈川県・伊勢原道院拳友会）宮幡大義・中山航（山梨県・郡内富士スポーツ少年団）吉田龍生・吉田折代（岐阜県・多治見青龍道院拳友会）遠藤健太郎・遠藤伸太郎（静岡県・富士裾野スポーツ少年団）古村光輝・古村勇樹（愛知県・日進南道院拳友会）山口葉名・堀井よしの（愛知県・名古屋植田道院拳友会）永尾初姫・竹内茉衣・高橋聖希・北川優登（愛知県・一宮中部道院拳友会）牧村昌都・中田暮翼（愛知県・名古屋太子道院拳友会）岡田凜・小南雪乃・山本雅貴・福井晴士郎（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）山下航平・寺田健人（兵庫県・灘中学校・灘高校）

好評発売中

絵と文 中村 麻美 (なかむら まみ)

F4判・上製・96頁・定価(本体2700円+税)

伝えたい日本のいろ



中村麻美 (なかむら・まみ) 画家・挿画家。三重県津市生まれ。県立津西高校、津田塾大学卒。大学在学中、日本画教室(田中峰雪氏に師事)にて作画の基礎を学ぶ。英語個人教授業、第十八代ミス日本グランプリ、NHK BSニュースキャスター、絵本翻訳業を経て、絵画を志す。大和草、茶花などを題材とした日本画の本画を制作し、書籍、雑誌、新聞、テレビ番組などで歴史もの、武人画、創業者などの挿画を手がける。また、原作新聞小説挿画を描いたNHK大河ドラマ『天地人』放映の平成十九年以降は、歴史上の人物の本画作品制作にも新境地を開いている。代表作に『天地人丸紋絵巻』(兼統お船ミュージアム所蔵)、『斎王』(三重県立斎宮歴史博物館所蔵)など。

月刊「武道」の美しいカラー表紙絵の中から45点を精選。岩絵具で描いた日本画と解説文で「日本のこころ」をお届けします。

「ひとに愛されたい、必要とされたい、社会をよくするため役立ちたい。よき人間でありたい、そしてみんなが幸せであってほしい」——こうした万国共通の願い、祈りを育て、磨くためにも、確かな手がかりとなるすばらしい逸話ばかりです。(本書「あとがき」より)

目次

- 一 かしい小僧さん
- 二 ひより越え
- 三 天の石屋戸
- 四 巖流島の決闘
- 五 太田道灌と少女の歌
- 六 三本の矢の教え
- 七 山中鹿介——我に七難八苦を与えたまえ
- 八 良寛さまと筍
- 九 民を慈しむ仁徳天皇
- 十 中江藤樹——母への薬
- 十一 夫の危機を救う弟橘媛
- 十二 良子斎王——別れの御櫛
- 十三 桜井駅の別れ
- 十四 八俣の大蛇
- 十五 川中島の戦い——謙信と信玄
- 十六 紅梅内侍と鶯の宿
- 十七 新羅三郎義光——笙の秘曲を授ける
- 十八 小松姫——夫の居城を守りぬく
- 十九 青の洞門
- 二十 鍋島直茂と接木木
- 二十一 小林虎三郎——米百俵の精神
- 二十二 島津義弘——関ヶ原敵中突破
- 二十三 光明皇后——千人のからだを洗う
- 二十四 城戸俊三——勝利を捨てて愛馬を救う
- 二十五 松坂の一夜
- 二十六 柳に飛びつく蛙
- 二十七 称名寺『青葉の楓』
- 二十八 神武天皇で東征
- 二十九 本多忠朝とサンフランシスコ号
- 三十 つるべの朝顔
- 三十一 鉢中兼山——海に捨てたはまぐり
- 三十二 鉢の木
- 三十三 因幡の白うさぎ
- 三十四 堪忍のわび証文
- 三十五 橘曙覧『独楽吟』
- 三十六 南総里見八犬伝
- 三十七 吉田松陰の志
- 三十八 鳥居強右衛門の勇氣
- 三十九 明智光春——誉れの湖水渡り
- 四十 赤穂義士の討ち入り
- 四十一 頼朝を助けた梶原景時
- 四十二 真田幸村——大坂の陣
- 四十三 天照大御神と美し国・伊勢
- 四十四 和田勇——祖国にオリンピックを招致
- 四十五 長岡花火『白菊』



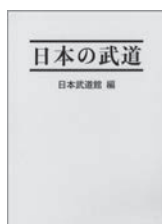
編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

（翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット）

（B5判・上製・DVD付・336頁）



武士道に学ぶ

皇學館大学教授

菅野 覚明 著

（四六判・上製・344頁）



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

（四六判・上製・278頁）



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



＜増補版＞ 私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

（四六判・上製・326頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）



武道・ スポーツの真髄

スポーツドクター

辻 秀一 著

（四六判・上製・248頁）

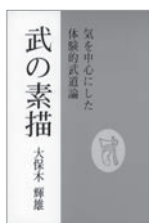


武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

（四六判・上製・220頁）

空手が追加競技に決定



空手が正式採用されることが決まり、万歳する子供たちと全日本空手道連盟関係者（日本空手道会館）

IOC（国際オリンピック委員会）の第129次総会が、8月4日（日本時間）、ブラジル・リオデジャネイロで開かれ、東京2020オリンピック競技大会の追加競技種目の一つとして、「空手」の正式採用が決まった。



8月4日午前4時47分（日本時間）、江東区の日本空手道会館では、笹川堯全日本空手道連盟会長はじめ、関係者、選手が集い、IOC総会の生中継を食い入るように見詰めていた。また、決定の瞬間を押さえるように多くの報道陣が会場に詰めかけ、結果を見守った。議題の一つである、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が提案した東京2020オリンピックの追加競技種目に関して審議が始まると、会場内は一気に緊張に包まれた。

採決が行われた結果、提案された「空手」など5競技が全会一致で承認。正式採用が決まった瞬間、関係者・選手は感動の声を上げ、喜びの拍手で祝った。同時に、関係者は安堵の表情を浮かべていた。

また、同日午前10時からは、同会場にて記者会見が開かれた。未来の



東京 2020 オリンピック



東京 2020 オリンピックの追加競技として「空手」の正式採用が決まった瞬間。
左から喜友名諒、荒賀龍太郎、植草歩、清水希容、宇佐美里香の各氏

空手界を担う子供たちが大勢集まり、悲願の空手オリンピック競技採用に喜びの声を上げた。笹川堯会長は、すべての関係者と空手愛好者に謝意を述べ、「長年の夢で嬉しすぎて言葉にしようがない。空手は日本の伝統ある文化。武道の本拠地である日本武道館でできることは光栄です」と語った。2024年以降の正式採用を目指し、今後もI O C に働きかけていく考えを示した。

日本武道館の単行本

空手評論家
金城

裕
(さんじょう ひろし) 著

唐手から空手へ

題字 松永光 日本武道館会長

唐手から空手へ

日本武道館

金城 裕

(四六判・上製・四五四頁)

今の空手は、その源流である唐手^{からて}の精神と伝統の技を忘れて成長してしまった。空手の将来に豊かな展望を持つためにも、唐手誕生の歴史を正しく認識する必要がある――。

空手修業歴八十年。生涯を空手に捧げてきた著者が史料を繙きながら、唐手が誕生し、空手となった過程を辿る。武道研究者必携の一書。

〈目次〉

- 第一章 「唐手」とは、の問いに答える
- 第二章 中国拳法を巡って
- 第三章 琉球と中国の関係史
- 第四章 松村宗昆、「手」に息吹きを与える
- 第五章 首里手から唐手へ
- 第六章 「唐手」から「空手」へ
- 終章 空手の進むべき道



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)

日本の武道

日本武道館 編



一千数百年の歴史を有する武道の全容を一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実の巻末資料など、武道関係者必携の書。

(B5判・上製・箱入・526頁)

我が空手人生

金澤弘和 著



国際松濤館空手道連盟館長
父母の教え、「からて」との出会い、厳しい修行、組織の結成、そして独自の空手理論構築まで、世界に空手を普及した男の記録。

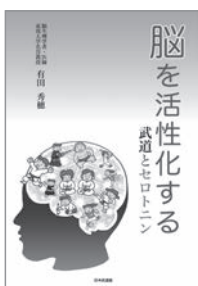
(四六判・上製・372頁)

脳を活性化する

武道とセロトニン

東邦大学名誉教授

有田秀穂 著



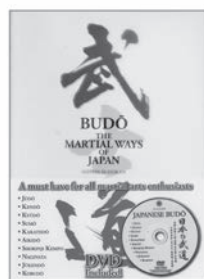
人間の心身を安定させるセロトニン——。その研究の第一人者が、誰もができる脳を活性化させる方法をわかりやすく解説。

(A5判・並製・346頁)

BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編



武道のすべてを網羅した『日本の武道』の英語版。海外武道修業者におすすめの書。

(B5判・上製・336頁・DVD付)

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著



武道の良さ、すばらしさを、わかりやすく描く。大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。空手道は5話を掲載。

(B5判・並製・236頁)

大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷将俊 著



各武道の先達三十名に直接取材。武道との出会いから修行時代、そして現在を語る。空手道では江里口栄一、辻川禎親、金城裕の3氏を収録。

(四六判・上製・376頁)



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。